

令和6年度 決算事業報告書



総務・学校教育課



款	2	総務費		項	1	総務管理費		目	7	財産管理費		会計名	一般会計		
事業名			2-2	庁舎等管理費(天萬庁舎)								所属名	総務・学校教育課		
事業 の 目 的	対象 (誰、何に対してか)			町民、利用者、職員							総合計画における位置づけ				
	意図 (対象をどうするか)			施設を快適に利用できるよう維持管理に努める。							⑫生活安全体制の強化				
	成果の視点 (どのような効果があるか)			施設の維持管理を適切に行う。							「五つの挑戦」から見た位置づけ				
											⑤行財政改革				
											根拠法令・要綱等				
											南部町庁舎管理規則				
令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減		令和6年度 執行率		93.69 %					
12,163,113 円		12,512,206 円		349,093 円		2.9 %									
前年度 比較		令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引						増減			
		12,849 千円		13,355 千円		506 千円		3.9 %							
【事業内容】 天萬庁舎が住民サービスの拠点としての機能を発揮できるよう維持管理を行う。															
【決算の状況】															
(計画) (実績) ①成果実績または活動実績 単位:円															
細 節		予算額		決算額		内 容									
消耗品費		259,000		253,223		事務用品代、日用品代、その他消耗品代									
燃料費		59,000		33,357		ガス									
光熱水費		5,147,820		4,640,255		電気4,476,348円 サイレン27,892円 水道136,015円									
施設修繕料		2,050,730		2,050,730		非常放送設備修繕847,000円 天井修繕383,900円 受水槽修繕232,100円 空調設備修繕195,800円 その他突発的修繕391,930円									
通信運搬費		924,000		794,540		電話									
火災保険料		151,000		150,225		火災保険									
保守点検委託料		2,325,800		2,286,750		自家用電気工作物保安管理150,000円(前田電気管理事務所) 冷暖房設備1,496,000円(TBM) 自動ドア132,000円(山陰エレベータ) エレベーター277,200円(ジャパンエレベーターサービス) 消防設備231,550円(上田商事)									
施設管理委託料		1,774,000		1,653,506		警備184,800円(大同警備保障) 清掃(ワックス清掃等)743,380円(東亜建物管理) 清掃(トイレ、床等)429,134円(南部広域シルバー人材センター) 周辺環境整備296,192円(南部広域シルバー人材センター)									
その他の委託料		166,650		166,650		産業廃棄物処分99,000円(海老田金属)67,650円(三光)									
借上料		36,000		35,640		AED									
使用料		132,000		120,190		下水道95,176円 放送受信料25,014円									
備品購入費		329,000		327,140		紙折り機243,100円 掃除機40,480円 ボイスレコーダー43,560円									
計		13,355,000		12,512,206											
②成果または活動の問題点 経年劣化による施設の破損、備品の故障が多発している。															
※故障した備品を購入したことによる増 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)															
款-項-目-節		科 目 名 称			前年度決算額		本年度決算額		節		前年度決算額		本年度決算額		
									10 需用費		6,575,366		6,977,565		
									11 役務費		1,002,383		944,765		
									12 委託料		4,429,786		4,106,906		
									13 使用料及び賃借料		155,578		155,830		
									17 備品購入費		0		327,140		
		一般財源			12,163,113		12,512,206								
計					12,163,113		12,512,206		計		12,163,113		12,512,206		
今後 に 向 け て	①今後の事業全体の方向性とその内容			天萬庁舎の機能が発揮できるよう今後も維持、管理に努め、破損箇所等については計画的に修繕を行い早期の対応に努める。											
	②次年度へ向けた次への行動・具体策														
	達成できた点をさらに伸ばす方策			保守点検結果等から施設の異常を察知し、故障・破損する前段階からの計画的な更新を図る。											
	解決すべき課題への方策			施設の老朽化により破損箇所等が多発しているため光熱水費の毎月の変動から不測の漏水・漏電等の早期発見に努めていく。また、備品の計画的な更新をしていく。											

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	1	教育委員会費	会計名	一般会計
事業名		1	教育委員会費						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		教育長、教育委員				総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		本町教育行政の運営、施策について協議し、南部町教育のより一層の充実が図られるようにする。				④保育及び学校・家庭教育の充実			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		毎月定例教育委員会を開催し、教育行政にかかる審議・協議を行う。他市町村の教育委員との情報交換や情報収集により教育委員活動の充実を図る。				「五つの挑戦」から見た位置づけ			
							②子育て環境の充実			
							根拠法令・要綱等			
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		地方教育行政の組織及び運営に関する法律、南部町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例、南部町教育行政点検評価委員会設置要綱		
		2,305,148 円	2,558,687 円	253,539 円		11.0 %				
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減		令和6年度執行率		
		2,431 千円	2,632 千円	201 千円		8.3 %				

【事業内容】

- 教育委員報酬
- 教育委員会交際費
- 研修会・大会への参加、教育行政先進地等の視察研修
- 教育委員活動に必要な経費
- 各種協議会等負担金 他

【決算の状況】

(計画)

(実績)

①成果実績または活動実績

単位:円

細 節	予算額	決算額	内 容
委員報酬	1,428,000	1,428,000	教育長職務代行者 1人 32,000円／月×12月 委員 3人 29,000円／月×12月
報償費	21,000	14,800	8/20南部町教育行政点検評価委員会委員謝金 2,700円×4人＝10,800円 巣箱コンクール記念品(図書カード) 2,000円×2人＝4,000円
普通旅費	302,000	293,282	(別途記載) ※前年比258,111円(研修・視察等の増)
研修旅費	683,000	668,598	
交際費	50,000	49,507	教育委員会交際費 香典40,000円(教職員親族等7件)、土産代9,507円(2件)
消耗品費	41,000	30,600	全国町村教育長研究大会資料代4,500円 中国五県町村教育長会研究大会参加資料代等15,000円 機関紙「時報市町村教委」購読料 1冊370円×6回/年×5人分＝11,100円
燃料費	13,000	0	
使用料	8,000	6,000	9/30-10/1高知県佐川町視察駐車場料金2,000円 11/28-30市町村教育委員会研究協議会駐車場料金4,000円
通行料	18,000	0	
その他負担金	68,000	67,900	鳥取県市町村教育委員会研究協議会負担金 18,900円(※R5なし) 西部地区町村教育委員会連絡協議会負担金 32,000円 県町村教育長会負担金 15,000円 全国コミュニティ・スクール連絡協議会会費 2,000円
計	2,632,000	2,558,687	

※借上料(出張時レンタカー代)の減により、使用料及び賃借料前年比△16,380円

(歳入内訳 単位:円)

(歳出内訳 単位:円)

款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
				1 報酬	1,427,999	1,428,000
				7 報償費	17,500	14,800
				8 旅費	703,769	961,880
				9 交際費	47,840	49,507
				10 需用費	40,860	30,600
				13 使用料及び賃借料	22,380	6,000
	一般財源	2,305,148	2,558,687	18 負担金補助及び交付金	44,800	67,900
計		2,305,148	2,558,687	計	2,305,148	2,558,687

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	南部町の学校教育・社会教育の充実と一層の推進を図るため、これらの教育課題に積極的に取り組む。また、研修会等に参加し、教育環境を取りまく状況変化を理解し、南部町の学校教育、社会教育推進の参考とする。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	教育委員の研修機会と情報交換の場を確保する。 教育環境の変化に迅速に対応するため、常に情報収集と研鑽に努める。
	解決すべき課題への方策	教育委員の学校行事や各種会議等の参加や教育委員会事務局から情報提供を行う。 教育環境の変化に迅速に対応するため、常に情報収集と研鑽に努める。

事業名	1	教育委員会費	所属名	総務・学校教育課
○ 会議、視察等 ・ 4/25-26社会体育事業に関する協議 ・ 5/14-16全国町村教育長会、全国CS研究協議会、東京都英語村TGG視察 ・ 6/26-29西伯郡教育長会視察研修 ・ 7/16-17萩東中学校視察訪問、中国地区マイスター会議 ・ 7/18-19県町村教育長会研修会 ・ 7/30-31交流事業について協議 ・ 8/1-2中国五県町村教育長会協議 ・ 8/22-23中国五県町村教育長会 ・ 9/6-7地域学校協働活動視察協議 ・ 10/4阿部一二三招へいに関する依頼 ・ 10/18地域づくりNPO法人と地域学校協働活動に関する協議 ・ 10/24-25県町村教育長研修会 ・ 11/20MOA美術館連携協議 ・ 11/28-29市町村教育委員会研究協議会 （東京都内） （東京都江東区他） （北海道夕張郡長沼町、白老郡白老町） （山口県萩市） （三朝町） （高知県佐川町） （島根県津和野町） （岡山県和気町） （島根県美郷町） （東京都世田谷区） （兵庫県丹波市） （岩美町） （静岡県熱海市） （福岡県福岡市） 他、県内会議・協議等 教育委員4名、随行者1名 教育委員会議事録 南部町教育行政施策の点検・評価 教育振興基本計画 ②成果または活動の問題点 教育行政に対する情報・課題等の共有及び研修会等の参加による教育環境を取りまく状況の理解により、南部町の学校教育、社会教育等の推進につなげる必要がある。				

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名		1	教育委員会事務局費						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		教育委員会事務局職員、教職員、保護者					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		児童生徒の教育課題解決に向けた教育委員会事務局及び町内学校の円滑な運営					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		児童生徒の教育課題解決に向けた教育委員会事務局及び町内学校の円滑な運営のための環境を整えとともに必要な経費を確保する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
								地方教育行政の組織及び運営に関する法律 教育基本法		
前年度比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額		差引		増減			
	1,917,651 円		4,058,343 円		2,140,692 円		111.6 %			
	令和5年度予算額		令和6年度予算額		差引		増減			
	2,379 千円		4,446 千円		2,067 千円		86.9 %			
						令和6年度執行率		91.28 %		

【事業内容】

教育委員会事務局及び町内学校を円滑に運営するため、環境整備や適切な経費の支出を行う。
中学校新入生の保護者に入学祝い金を贈る。

【決算の状況】

(計画)

(実績)

①成果実績または活動実績

単位:円

細 節	予算額	決算額	内 容
報償費	68,000	2,700	8/6通学路交通安全確保に向けた連絡会謝礼2,700円(1人) ※ 通学路交通安全確保に向けた連絡会謝礼2人→1人(△2,700円) 教職員研修講師謝金「学校経営校長戦略事業」から支払い(△54,000円) オンライン英語プロポーザル委員謝金(△8,100円)
普通旅費	309,150	309,150	(別途記載)
消耗品費	676,000	661,935	事務局の事務消耗品費
通信運搬費	100,000	84,089	教育委員会発送文書の郵送料
その他の委託料	757,500	594,600	児童生徒送迎車両運行委託266,100円 〔1,200円(片道)×153回＝183,600円 西伯小学校休日バス委託料82,500円(1回)〕 児童生徒を対象とした文化芸術事業委託246,000円 〔6/20会見小・会見第二小123,000円 11/20法勝寺中123,000円〕 損害賠償請求に係る示談交渉委託82,500円
その他負担金	2,359,000	2,317,869	西部町村就学支援協議会負担金104,300円 西伯郡中学校会負担金265,300円 安全衛生推進者講習受講料15,000円×3名＝45,000円 防火管理者講習受講料 5,000円×3名＝15,000円 中学校新入生入学祝い金1,888,269円
賠償金	176,000	88,000	損害賠償金88,000円
計	4,445,650	4,058,343	

(歳入内訳 単位:円)				(歳出内訳 単位:円)		
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額
18-2-4-1	さくら基金繰入金	0	1,888,269	7 報償費	89,100	2,700
				8 旅費	135,590	309,150
				10 需用費	351,981	661,935
				11 役務費	105,880	84,089
				12 委託料	982,200	594,600
				18 負担金補助及び交付金	252,900	2,317,869
	一般財源	1,917,651	2,170,074	21 補償補填及び賠償金	0	88,000
	計	1,917,651	4,058,343	計	1,917,651	4,058,343

今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容	経費節減に努めながら、教育委員会事務局及び町立学校の円滑な運営を行う。
	②次年度へ向けた次への行動・具体策	
	達成できた点をさらに伸ばす方策	今後も支出内容を精査したり、有効活用できる各種補助金等の情報を収集したりしていく。
	解決すべき課題への方策	事業経費について、他事業への振り分けを検討・実施する。

事業名	1	教育委員会事務局費	所属名	総務・学校教育課
○ 事務局職員出張旅費 ・ 9/30-10/2斗賀野小学校他視察訪問 ・ 10/22-23阿部一二三招へいに関する協議 ・ 10/31-11/1訪問型家庭教育支援について視察 ・ 11/28-29中四国社会教育研究会 ・ 2/5丹波市地域づくり協議会 ・ 2/6大阪府教育長訪問 ・ 2/7-8市町村教育委員研究協議会 ・ 3/13-14次世代教育用ネットワーク視察 (高知県佐川町) (東京都世田谷区他) (大阪府大阪市) (徳島県徳島市) (兵庫県丹波市) (大阪府大阪市) (東京都千代田区) (大阪府大東市) ○ 児童生徒送迎車両運行委託 ・ 目的:校外学習や夕方及び休日の登下校時における生徒児童の交通手段の確保のため。 ・ 委託先:町内在住の方との個人契約5名及び(株)ジャパントラフィックプランニング ・ 金額:266,100円 1,200円(片道)×153回=183,600円 校外学習・しごと未来体験・健康診断等 南部中 土日の登下校(行事・部活) 南部中 平日夕方便(部活動特別便) 会見第二小 休日便(行事) 西伯小 12月～2月能竹便 西伯小学校休日バス委託料(運動会)82,500円×1回 ○ 児童生徒を対象とした文化芸術事業委託 ・ 目的:文化振興の一環として、児童を対象に豊かな心を育む機会として行う。 ・ 委託先:(公財)鳥取県文化振興財団 ・ 金額:246,000円 6/20会見小・会見第二小「美しい日本の音のしらべ」123,000円 11/20法勝寺中「響け和太鼓！鳥取の伝統芸能」123,000円 ○ 損害賠償請求に係る示談交渉委託 著作権者のイラスト1点を承諾のないまま『南部中学校だより』に掲載したもの。 学校設置者である教育委員会が相手方の法律事務所へ賠償金を支払った。 ・ 目的:南部中学校の広報誌における著作権侵害の示談交渉を円滑に行うため。 ・ 委託先:川中・野口法律事務所 ・ 金額:82,500円 ・ 効果:専門知識を有する者へ依頼することで、対応の負担軽減が図られ、早期解決に繋がった。 ○ 中学校新入生入学祝い金 20,000円×96名=1,920,000円 利用ポイント総額 1,888,269円 ②成果または活動の問題点 経常経費と事業経費が一体となっている。 ■西部町村就学支援協議会負担金ついて 鳥取県西部町村就学支援協議会規約				

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名		4	不登校対策事業						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童生徒及び保護者					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		不登校の未然防止・早期対応、居場所づくりにより児童生徒が安全安心に生活できるようにする。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		各機関が連携して、児童生徒が安心する居場所ができ、個別のニーズに応じた支援ができることで、児童生徒の社会的自立に向けた主体性を高める					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度執行率		23.25 %		
		19,823 円	19,991 円	168 円	0.8 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		122 千円	86 千円	△ 36 千円	△ 29.5 %					
【事業内容】 ○ 教育支援センターさくらんぼを拠点として、不登校児童生徒の支援・相談を行うとともに、学校復帰を含めた社会的自立に向けた取り組みの充実を図る。 ○ 各中学校区にスクールカウンセラーを配置(県事業)し、心理に関する専門的な知見をもとに、相談、各機関との連携を図ることにより、不登校等の防止・早期対応につなげる。 ○ 県事業による各中学校区2名配置のスクールカウンセラー(1名あたり年110時間)について、県の充当を超える緊急的な事例があった場合、町の予算により対応する。 【決算の状況】 (計画) ○ 学習相談員を教育支援センターさくらんぼに配置する 主任学習相談員1名、学習相談員3名(相談員は毎日1名) ○ 教育支援センターの消耗品費 20,000円 ○ 緊急支援時のスクールカウンセラー活用の確保 (県の充当を上回った場合の報償費) 5,500円×2時間×6回 66,000円 (実績) ①成果実績または活動実績 さくらんぼ利用児童生徒5名/不登校36名 5名中3名は学校にも登校 さくらんぼ利用児童生徒の進路 R5中学校卒業2名中1名が学校復帰 ○ 教育支援センターの消耗品費 19,991円 内訳) (単位:円) 環境整備(園芸培養土、野菜の苗、他) 8,400 教材(粘土、計量カップ、ホウ砂、他) 11,591 少人数の体験活動を通じて、人間関係づくりを行うとともに、本人の自主的な活動を支援し自己肯定感を高めた。 ○ 緊急支援時のスクールカウンセラー活用の確保 ※ R6年度は緊急事例がないため、執行率が低くなっている。										
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)					
款-項-目-節		科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
						7 報償費		0	0	
						10 需用費		19,823	19,991	
						17 備品購入費		0	0	
		一般財源		19,823	19,991					
		計		19,823	19,991	計		19,823	19,991	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		児童生徒の居場所を確保するとともに、未然防止に向けたスクールカウンセラーのカウンセリングを充実させ、学校や各機関との連携を密にし、早期対応が各校でできるよう事業を展開する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		未然防止につながる、カウンセリングを充実させるために、教職員や相談員の児童生徒の困り感や背景を見立てる力を高めるため、アンケートの活用やケース会議の充実を図る。							
	解決すべき課題への方策		不登校の人数を減少させるため、中学校内にサポートルームを設置し、通常の学級での学習等が困難になった生徒が安心して自分のペースで過ごすことを支援したり、教育支援センターからの学校復帰の手がかりとする。							

事業名	4	不登校対策事業	所属名	総務・学校教育課																																																					
■ 緊急支援時のスクールカウンセラー活用 学校関係者の自死・事故死、被災、職員の不祥事、いじめの重大事案などによる学校や地域全体が混乱するストレス状況における特別な支援が対象 ○ 学校種別不登校人数(年30日以上欠席) ()は内新規数 <table><tr><td></td><td></td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td rowspan="4">小学校</td><td>不登校児童</td><td>8人(6)</td><td>15人(11)</td><td>17人(6)</td></tr><tr><td>町出現率</td><td>1.66</td><td>3.10</td><td>3.64</td></tr><tr><td>県出現率</td><td>1.74</td><td>2.27</td><td>—</td></tr><tr><td>国出現率</td><td>1.70</td><td>2.14</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">中学校</td><td>不登校生徒</td><td>15人(5)</td><td>19人(9)</td><td>19人(7)</td></tr><tr><td>町出現率</td><td>6.00</td><td>7.51</td><td>7.16</td></tr><tr><td>県出現率</td><td>6.06</td><td>7.19</td><td>—</td></tr><tr><td>国出現率</td><td>5.98</td><td>6.71</td><td>—</td></tr></table> ○ 不登校児童生徒(年30日以上欠席)の内訳 <table><tr><td rowspan="3">小学校</td><td>主に家で過ごす</td><td>11</td></tr><tr><td>主にさくらんぼに通う</td><td>1</td></tr><tr><td>主に学校で過ごす</td><td>5</td></tr><tr><td rowspan="3">中学校</td><td>主に家で過ごす</td><td>8</td></tr><tr><td>主にさくらんぼに通う</td><td>4</td></tr><tr><td>主に学校で過ごす</td><td>7</td></tr></table> さくらんぼ以外では、継続的ではないがフリースクールを利用した児童がいる ○ 未然防止、早期対応により前年度と比較して、新規に不登校になる児童生徒が20名から13名へと減少した。 ○ R5に30日以上欠席34名のうち、R6小中学校在籍で欠席30日以下は、3名。 ○ 町の教育相談機関における不登校の相談件数 延べ123件(小75、中42、その他11) ②成果または活動の問題点 新規の不登校人数は減少したが、不登校の出現率は依然として高い。							R4	R5	R6	小学校	不登校児童	8人(6)	15人(11)	17人(6)	町出現率	1.66	3.10	3.64	県出現率	1.74	2.27	—	国出現率	1.70	2.14	—	中学校	不登校生徒	15人(5)	19人(9)	19人(7)	町出現率	6.00	7.51	7.16	県出現率	6.06	7.19	—	国出現率	5.98	6.71	—	小学校	主に家で過ごす	11	主にさくらんぼに通う	1	主に学校で過ごす	5	中学校	主に家で過ごす	8	主にさくらんぼに通う	4	主に学校で過ごす	7
		R4	R5	R6																																																					
小学校	不登校児童	8人(6)	15人(11)	17人(6)																																																					
	町出現率	1.66	3.10	3.64																																																					
	県出現率	1.74	2.27	—																																																					
	国出現率	1.70	2.14	—																																																					
中学校	不登校生徒	15人(5)	19人(9)	19人(7)																																																					
	町出現率	6.00	7.51	7.16																																																					
	県出現率	6.06	7.19	—																																																					
	国出現率	5.98	6.71	—																																																					
小学校	主に家で過ごす	11																																																							
	主にさくらんぼに通う	1																																																							
	主に学校で過ごす	5																																																							
中学校	主に家で過ごす	8																																																							
	主にさくらんぼに通う	4																																																							
	主に学校で過ごす	7																																																							

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計	
事業名		6	児童生徒就学援助・奨励事業						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童生徒及び保護者					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		児童生徒が教育活動に円滑に参加できるようにするとともに、保護者の経済的負担の軽減を図っている。					④保育及び学校・家庭教育の充実			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		児童生徒が教育活動に安定、安心して参加するとともに、援助が必要な世帯の保護者の経済的、心理的負担の軽減が図られる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								②子育て環境の充実			
								根拠法令・要綱等			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	南部町就学援助費給付要綱、特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱、特別支援教育就学奨励費支給要綱、被災児童生徒就学支援等事業交付金交付要綱						
	10,435,130 円	11,528,773 円	1,093,643 円	10.5 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						令和6年度執行率	89.60 %
	11,737 千円	12,867 千円	1,130 千円	9.6 %							
【事業内容】											
① 経済的理由によって就学することが困難と認められる児童生徒の保護者に対し就学に関わる費用の援助を行う。 学校教育法第19条の規定を基に南部町就学援助費給付要綱に規定する給付対象者を要保護者、準要保護者に認定し、次の経費を援助する。 要 保 護・・・修学旅行費、医療費等、日本スポーツ振興センター掛金 (学用品費、通学用品費、校外活動費、通学費、新入学児童生徒学用品費については、生活保護費(福祉事務所)より支給される。) 準要保護・・・学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、医療費、学校給食費、日本スポーツ振興センター掛金、オンライン学習通信費 卒業アルバム代等購入費											
② 特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者で希望する方に対し、特別支援教育就学奨励費として学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費、オンライン学習通信費、交流及び共同学習時の通学費の一部を援助する。											
認定基準こちら											
【決算の状況】											
(計画)											
① 要保護・準要保護就学援助 認定者数 (要保護児童生徒援助費補助金 補助率 国1/2・町1/2)											
			要保護数(人)	準要保護数(人)							
小学校	継続		3	64							
	R5年度新規(見込)		1	8							
	R6年度新1年(見込)		0	5							
	小計		4	77							
中学校	継続		1	43							
	R5年度新規(見込)		0	3							
	小計		1	46							
計			5	123	支払見込額 12,292,000円						
・準要保護のうち、被災児童生徒就学支援等事業の該当予定者2人 (被災児童生徒就学援助事業費補助金 補助率 県10/10)											
② 特別支援教育就学奨励費 (特別支援教育就学奨励費補助金 補助率 国1/2・町1/2)											
	小学校	中学校	計								
児童生徒数(見込)	14 人	5 人	19 人	支払見込額 575, 000円							
(歳入内訳 単位:円)											
(歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額				
14-2-5-1	要保護児童生徒援助費補助金		36,000	11,000	18 負担金補助及び交付金	50,700	51,620				
14-2-5-1	特別支援教育就学奨励費補助金		234,000	226,000	19 扶助費	10,384,430	11,477,153				
15-2-6-1	被災児童生徒就学援助事業費補助金		197,509	135,936							
20-5-5-1	日本スポーツ振興センター補助金		5,340	19,830							
	一般財源		9,962,281	11,136,007							
	計		10,435,130	11,528,773	計	10,435,130	11,528,773				
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		福祉事務所や町民生活課との連携を図り、保護者へ適切な情報提供を行う。学校入学説明会やその他の機会をとらえ、保護者への制度の周知を積極的に行う。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策	学校、スクールソーシャルワーカー、給食担当者との連携をより一層強化し、対象者の把握を図る。									
	解決すべき課題への方策	保護者への事業の周知を工夫する。									

事業名	6	児童生徒就学援助・奨励事業	所属名	総務・学校教育課
-----	---	---------------	-----	----------

(実績)

①成果実績または活動実績

○要保護・準要保護就学援助費

		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
人数	要保護(人)	5	1	4	1	4	1
	準要保護(人)	66	39	82	45	81	47
	計(人)	71	40	86	46	85	48
支給	日本スポーツ振興センター掛金(円)	25,340	17,500	32,280	18,420	31,820	19,800
	生活支援特別給付金(円)	900,000	300,000	0	0	0	0
	学用品費等(円) (A)	4,780,443	3,453,758	5,064,248	4,850,759	5,229,819	5,794,809
	計(円)	9,477,041		9,965,707		11,076,248	
	就学援助認定率 (%)	15.18%		17.86%		17.98%	

(R4年度 県15.33% 全国13.96%)

(R5年度 県15.11% 全国13.71%)

支払額合計 11,076,248円

(A) 学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品費、学校給食費、卒業アルバム代等購入費、オンライン学習通信費、医療費 (扶助費)

○ 特別支援教育就学奨励費実績

	小学校	中学校	計
児童生徒数	9 人	5 人	1 4 人

支払額合計 452,525円 (扶助費)

②成果または活動の問題点

制度案内の配布、説明機会を設けるなど広報活動を広く行い、全国規模で運用による地域格差が生じないように努める。電子申請を令和8年度から行う予定で進めている。

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計	
事業名		7	外国語指導助手(ALT)配置事業						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童生徒					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		外国語活動や英語教育、国際理解教育を充実させ、児童生徒が主体的にコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。					④保育及び学校・家庭教育の充実			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		英語の発音や表現に直接触れることによって外国語に慣れ親しむとともに、異文化への理解を促進させる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								②子育て環境の充実			
								根拠法令・要綱等			
								教育基本法 学校教育法 学習指導要領			
前年度比較	令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引		増減		令和6年度 執行率			
	10,428,000 円		10,428,000 円	0 円		0.0 %					
	令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引		増減					
	10,780 千円		10,780 千円	0 千円		0.0 %					
【事業内容】 ○外国語指導助手(ALT)の配置により、外国語活動や英語教育、国際理解教育の充実を図り、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、ネイティブ・スピーカーの良さを生かし、話すことや聞くことなどの実践力を高める。 ○学校教育課程外の活動として、オールイングリッシュの環境でコミュニケーションをとる機会をつくり、実践的な英語力を育成するとともに、グローバルな視点に立った人材育成を図る。											
【決算の状況】 (計画) ○外国語指導助手を各中学校区に1名、計2名配置し、外国語活動及び英語教育、国際理解教育の充実を図る。 外国語指導業務委託 10,780,000円 有限会社イングリッシュスクール R5.4.1～R8.3.31 令和4年度公開型プロポーザルによる3年契約 ・配置日数200日間以上 ・1日6時間 授業は週22時間程度 ・小学校及び中学校における英語教育 ・外国の文化、生活等の紹介 ・特別活動等における語学指導、児童生徒との交流 ○ALTを活用したイングリッシュデイキャンプを開催し、体験活動を通して生きて働く英語力の育成を図る。											
(実績) ①成果実績または活動実績 ○外国語指導業務委託 10,428,000円 有限会社イングリッシュスクール R5.4.1～R8.3.31 ・小学校での授業では外国語による言語活動が増え、コミュニケーションを図る基礎を養った。 ・中学校での授業ではネイティブスピーカーとのロールプレイを通して、正しい発音で表現する機会が増えた。 ・CEFR A1レベル相当(英検3級)以上を達成する生徒(中3)の割合が県の目標値を上回った。 南部町:57.1% 鳥取県目標:51.0% ○ALTとのイングリッシュデイキャンプを各校ごとに開催し、積極的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする児童生徒が増えた。 ・各小中学校5校で夏季休業中に開催 38名参加 ②成果または活動の問題点 国は令和9年度までにCEFR A1レベル相当以上の生徒の割合を6割以上にすることを目指しており、まだその割合に達していない。											
(歳入内訳 単位:円)											
(歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節		科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
							12 委託料		10,428,000	10,428,000	
		一般財源			10,428,000	10,428,000					
		計			10,428,000	10,428,000	計		10,428,000	10,428,000	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		外国語活動や英語教育、国際理解教育の充実を引き続き図るとともに、外国語活動や英語教育での学びを通して自分の考えや気持ちを英語で伝え合う力の育成を進めていく。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		ALTから学んだことを更に、表現する機会を増やしコミュニケーションの力を向上させるために、タブレットのAI英会話アプリ等の活用を検討する。								
	解決すべき課題への方策		ALTが携わる外国語活動、英語教育について、ALT、小中学校の担当で情報共有や授業改善に向けた協議をとおして、言語活等を通した英語の技能を育成する。								

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名		8	特別支援学校通学支援事業						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		特別支援学校に通学する児童生徒及び保護者				総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		児童生徒の通学を支援するとともに保護者の負担軽減を図る。				④保育及び学校・家庭教育の充実			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		安心・安全な登下校により、児童生徒の安定した就学と保護者の負担軽減を図る。				「五つの挑戦」から見た位置づけ			
							②子育て環境の充実			
							根拠法令・要綱等			
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	教育基本法 学校教育法 鳥取県市町村等が行う特別支援学校 児童生徒通学支援に対する交付金要綱				
		1,353,031 円	853,670 円	△ 499,361 円	△ 36.9 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		1,780 千円	1,010 千円	△ 770 千円	△ 43.3 %					
		令和6年度執行率	84.52 %							
【事業内容】 県立米子養護学校に通学する児童生徒のうち、公共交通機関などによる通学が困難な方を対象に送迎を行う。 (補助率:県10/10)										
【決算の状況】										
		(計画)	(実績)		①成果実績または活動実績			単位:円		
細節		予算額	決算額	内 容						
消耗品費		107,000	41,266	感染症対策用品796円 アルコールセンサー10,890円 合鍵29,580円						
通信運搬費		8,000	4,704	郵送						
その他の委託料		895,000	807,700	運転手476,740円(個人契約) 介助員330,960円(個人契約)						
計		1,010,000	853,670							
②成果または活動の問題点 運転手や介助員の確保が問題である。										
※需用費について感染症対策用品の支出減										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
15-2-6-1		特別支援学校通学支援交付金		760,312	853,670	10 需用費		614,281	41,266	
						11 役務費		0	4,704	
						12 委託料		738,750	807,700	
		一般財源		592,719	0					
		計		1,353,031	853,670	計		1,353,031	853,670	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		令和6年度で南部町からの運行は終了し、令和7年度より他町の児童生徒とともに鳥取県にて実施する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		令和7年度より他町の児童生徒とともに鳥取県にて実施する。							
	解決すべき課題への方策		令和7年度より他町の児童生徒とともに鳥取県にて実施する。							

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計	
事業名		9	地域とともに歩む学校づくり推進事業(教育委員会事務局)						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童生徒、教職員、町民					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		地域総ぐるみで子どもを育むしくみや環境を整える。					④保育及び学校・家庭教育の充実			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		校区や各学校の取組を相互に共有することで、小中連携や校区を超えた活動につながる。 会の持ち方や会の内容の改善、組織の自立的な運営体制や組織外とつながる意識が定着する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								②子育て環境の充実			
								根拠法令・要綱等			
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		鳥取県学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金交付要綱、地域学校協働活動推進事業実施要領、南部町学校運営協議会設置要綱			
		2,367,853 円	783,870 円	△ 1,583,983 円		△ 66.9 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減					
		2,898 千円	1,225 千円	△ 1,673 千円		△ 57.7 %					
		令和6年度執行率					63.99 %				
【事業内容】 ○ 中学校区単位のコミュニティ・スクールの活動の充実を図り、小中一貫教育の視点を強化する。 ○ 中学校区単位及び各学校における熟議を学校運営や教育活動に生かすとともに、地域との協働活動の充実を図る。 ○ 「まち未来科」の充実を図り、地域総ぐるみで子どもを育む体制を一層強化する。 (学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金の活用 補助率 国1/3・県1/3・町1/3) 【決算の状況】 (計画) ○ 学校運営協議会及びCS委員会の開催に際し、委員謝金を支払う。 ・ 学校運営協議会開催 法勝寺中校区 1,350円×10人×4回 40人(延べ) 南部中校区 1,350円×7人×5回 30人(延べ) 会見第二小 1,350円×17人×6回 102人(延べ) ・ 各学校CS委員会開催 西伯小 1,350円×9人×4回 36人(延べ) 会見小 1,350円×12人×6回 72人(延べ) 南部中 1,350円×10人×8回 80人(延べ) 法勝寺中 1,350円×8人×5回 40人(延べ) (実績) ①成果実績または活動実績 ○ 学校運営協議会及びCS委員会の開催に際し、委員謝金を支払った。 ・ 学校運営協議会開催 法勝寺中校区 4回 (4/16、7/8、11/25、3/14) 1,350円×38人(延べ) 南部中校区 3回 (4/8、8/23、3/12) 1,350円×17人(延べ) 会見第二小 4回 (4/13、6/4、9/6、1/30) 1,350円×41人(延べ) ・ 各学校CS委員会開催 西伯小 4回(5/10、10/2、11/25、2/28) 1,350円×21人(延べ) 会見小 7回(4/15、6/25、7/23、9/12、11/7、2/6、3/24) 1,350円×48人(延べ) 南部中 4回(4/24、5/16、10/3、3/5) 1,350円×28人(延べ) 法勝寺中 5回 (4/24、7/23、10/24、11/25、3/7) 1,350円×25人(延べ)											
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)						
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額			
15-2-6-1	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金		623,000	326,000	7 報償費		575,740	314,300			
17-1-3-1	企業版ふるさと納税		1,100,000	0	8 旅費		503,340	371,148			
					10 需用費		282,669	90,422			
					13 使用料及び賃借料		62,796	8,000			
					18 負担金補助及び交付金		943,308	0			
	一般財源		644,853	457,870							
	計		2,367,853	783,870	計		2,367,853	783,870			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		「社会に開かれた教育課程」の実現、いじめ・不登校の増加など、子どもを取り巻く課題は複雑化・困難化している。地域住民とのめざす子ども像の共有や協働活動のより一層の充実を図る。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		子どもを取り巻く課題解決のため、学校のみならず家庭や地域住民等が相互に連携・協働し、地域全体で子どもたちの教育環境を向上させていく。								
	解決すべき課題への方策		町民のCS活動への参画の機運を高めるための広報を行う。また、CS関係者が主体的に他組織から学び、自組織の活動を見直すための継続的な意識改革の一助として、先進地視察を実施する。								

事業名	9	地域とともに歩む学校づくり推進事業(教育委員会事務局)	所属名	総務・学校教育課
-----	---	-----------------------------	-----	----------

- CSに係る研修会の開催

○ 6/4南部町コミュニティ・スクール研修会

・ 講師

岡山県教育庁生涯学習課

地域学校協働活動アドバイザー 安田隆人 氏

・ 参加者

38人

・ 内容

南部町のコミュニティ・スクールについて

熟議(★)演習

★ 学校と地域住民で「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のことで、活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができる。
- 学校運営協議会委員等の研修
推進フォーラム(東京都内)2人

○ 学校運営協議会委員等の研修

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰式及びコミュニティ・スクール制度化20周年記念フォーラム

(2/28開催、東京都千代田区)

2人＋随行者1人

被表彰の会見小CS委員会から委員2人が参加。
- 全国コミュニティ・スクール研究大会への参加
石川県金沢市3人

○ 11/8全国コミュニティ・スクール研究大会への参加

全国コミュニティ・スクール研究大会in金沢

(兼)地域とともにある学校づくり推進フォーラム
- 岡山県高梁市視察

○ 岡山県高梁市視察

○ コミュニティ・スクール チラシ及びパンフレット印刷

○ コミュニティ・スクール チラシ及びパンフレット印刷

パンフレットは既作成分を活用することとし、チラシのみ作成。

○ 熟議についての研修を各校で行う会に取り入れたことで今まで以上に議論が活発となった。全国コミュニティ・スクール研究大会等の視察より他自治体等とのネットワークを強化することができた。また、先進事例や各種教育施設・機関との連携、教職員研修のくふうなど今後の施策へ活用可能な多くの知見を得ることができた。
- ②成果または活動の問題点

・ 地域住民への周知が足りていないという課題が、かねてよりすべての運営協議会からあがっている。

・ コロナ禍があげたからといって、単にこれまで通りの活動を行うのではなく、子どもや地域のためになっているのかという問い直しが必要。

・ 学校の課題と地域の課題をすり合わせるような熟議へ発展していない。

※ 主に委員謝金が計画に対し実績が少なかったため、全体の執行率が低くなっている。

単位:円

細 節	予算額	決算額	内 容
報償費	599,000	314,300	学校運営協議会及びCS委員会委員謝金 1,350円×218人＝294,300円 6/4南部町コミュニティ・スクール研修会講師謝金20,000円 ※前年比△261,400円(生徒学習支援及びCS全国大会講師謝金の減)
普通旅費	222,000	210,128	6/4南部町コミュニティ・スクール研修会講師旅費18,625円 2/28文部科学大臣表彰式及びフォーラム191,503円(3人)
研修旅費	165,000	161,020	11/8全国コミュニティ・スクール研究大会161,020円(3人)
消耗品費	4,000	3,522	窓付封筒他
燃料費	7,000	0	
印刷製本費	206,000	86,900	コミュニティ・スクールチラシ15.8円×5000部＋税＝86,900円
借上料	13,000	8,000	協働活動統括推進員(1人)の活動時の自家用自動車借上料
使用料	2,000	0	
通行料	7,000	0	
計	1,225,000	783,870	

※ 需用費:前年比△192,247円(図書購入、南部町CS手引き改訂版印刷に係る費用の減、チラシ及びパンフレット作成費の減)
※ 使用料及び賃借料:前年比△54,796円(CS全国大会会場使用料の減)
※ 負担金及び交付金:前年比△943,308円(CS全国大会実行委員会への補助金の減)

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計																																																																																											
事業名		10	高校等通学定期券助成事業						所属名	総務・学校教育課																																																																																											
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		公共交通機関を利用して通学する生徒及び保護者					総合計画における位置づけ																																																																																													
	意図 (対象をどうするか)		就学期の子どもを抱える世帯の経済的負担の軽減、教育の機会均等が図られる。					④保育及び学校・家庭教育の充実																																																																																													
	成果の視点 (どのような効果があるか)		子ども達が通学費用を理由に希望する学びを諦めることがないよう支援するとともに、公共交通機関の維持に資する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																													
								②子育て環境の充実																																																																																													
								根拠法令・要綱等																																																																																													
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		南部町高等学校等通学定期乗車券等購入助成金交付規則 鳥取県高校生等通学費助成事業費補助金交付要綱																																																																																													
		2,871,500 円	2,512,500 円	△ 359,000 円		△ 12.5 %																																																																																															
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減																																																																																															
		4,467 千円	2,612 千円	△ 1,855 千円		△ 41.5 %																																																																																															
		令和6年度執行率			96.19 %																																																																																																
【事業内容】 ○ 定期券等により公共交通機関(路線バス及び鉄道)を利用して通学する生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減することにより教育の機会均等を図るとともに、公共交通機関の利用を促進することにより公共交通の維持に対する一助となることを目的に、高等学校等への通学に係る定期券及び回数券購入費の1/2(100円未満は切り捨て)を助成する。 ○ 鳥取県高校生等通学費助成事業補助金の活用 (補助率: 県1/2、町1/2) 【決算の状況】 (計画) 申請者に対し、定期券及び回数券購入の1/2(100円未満は切り捨て)を助成する。 <table><tr><td>バス(定期)</td><td>西伯方面⇄米子方面</td><td>8,200 円 ×</td><td>12 月 ×</td><td>24 人 ×</td><td>0.5 =</td><td>1,180,800</td></tr><tr><td></td><td>会見方面⇄米子方面</td><td>11,140 円 ×</td><td>12 月 ×</td><td>3 人 ×</td><td>0.5 =</td><td>200,520</td></tr><tr><td></td><td>西伯方面⇄境港方面</td><td>12,280 円 ×</td><td>12 月 ×</td><td>2 人 ×</td><td>0.5 =</td><td>147,360</td></tr><tr><td></td><td>米子方面⇄境港方面</td><td>8,210 円 ×</td><td>12 月 ×</td><td>2 人 ×</td><td>0.5 =</td><td>98,520</td></tr><tr><td></td><td>会見方面⇄境港方面</td><td>11,300 円 ×</td><td>12 月 ×</td><td>1 人 ×</td><td>0.5 =</td><td>67,800</td></tr><tr><td>JR(定期)</td><td>岸本駅⇄根雨駅</td><td>8,110 円 ×</td><td>12 月 ×</td><td>3 人 ×</td><td>0.5 =</td><td>145,980</td></tr><tr><td></td><td>米子駅⇄倉吉方面</td><td>5,770 円 ×</td><td>12 月 ×</td><td>2 人 ×</td><td>0.5 =</td><td>69,240</td></tr><tr><td></td><td>米子駅⇄伯耆大山駅</td><td>3,450 円 ×</td><td>12 月 ×</td><td>1 人 ×</td><td>0.5 =</td><td>20,700</td></tr><tr><td></td><td>米子駅⇄境港方面</td><td>7,150 円 ×</td><td>12 月 ×</td><td>7 人 ×</td><td>0.5 =</td><td>300,300</td></tr><tr><td>バス(回数券)</td><td>法勝寺線</td><td>4,600 円 ×</td><td>105 冊 ×</td><td>0.5</td><td>=</td><td>241,500</td></tr><tr><td></td><td>御内谷線</td><td>4,300 円 ×</td><td>30 冊 ×</td><td>0.5</td><td>=</td><td>64,500</td></tr><tr><td></td><td>その他</td><td>6,000 円 ×</td><td>25 冊 ×</td><td>0.5</td><td>=</td><td>75,000</td></tr><tr><td colspan="6"></td><td>2,612,220</td></tr></table>											バス(定期)	西伯方面⇄米子方面	8,200 円 ×	12 月 ×	24 人 ×	0.5 =	1,180,800		会見方面⇄米子方面	11,140 円 ×	12 月 ×	3 人 ×	0.5 =	200,520		西伯方面⇄境港方面	12,280 円 ×	12 月 ×	2 人 ×	0.5 =	147,360		米子方面⇄境港方面	8,210 円 ×	12 月 ×	2 人 ×	0.5 =	98,520		会見方面⇄境港方面	11,300 円 ×	12 月 ×	1 人 ×	0.5 =	67,800	JR(定期)	岸本駅⇄根雨駅	8,110 円 ×	12 月 ×	3 人 ×	0.5 =	145,980		米子駅⇄倉吉方面	5,770 円 ×	12 月 ×	2 人 ×	0.5 =	69,240		米子駅⇄伯耆大山駅	3,450 円 ×	12 月 ×	1 人 ×	0.5 =	20,700		米子駅⇄境港方面	7,150 円 ×	12 月 ×	7 人 ×	0.5 =	300,300	バス(回数券)	法勝寺線	4,600 円 ×	105 冊 ×	0.5	=	241,500		御内谷線	4,300 円 ×	30 冊 ×	0.5	=	64,500		その他	6,000 円 ×	25 冊 ×	0.5	=	75,000							2,612,220
バス(定期)	西伯方面⇄米子方面	8,200 円 ×	12 月 ×	24 人 ×	0.5 =	1,180,800																																																																																															
	会見方面⇄米子方面	11,140 円 ×	12 月 ×	3 人 ×	0.5 =	200,520																																																																																															
	西伯方面⇄境港方面	12,280 円 ×	12 月 ×	2 人 ×	0.5 =	147,360																																																																																															
	米子方面⇄境港方面	8,210 円 ×	12 月 ×	2 人 ×	0.5 =	98,520																																																																																															
	会見方面⇄境港方面	11,300 円 ×	12 月 ×	1 人 ×	0.5 =	67,800																																																																																															
JR(定期)	岸本駅⇄根雨駅	8,110 円 ×	12 月 ×	3 人 ×	0.5 =	145,980																																																																																															
	米子駅⇄倉吉方面	5,770 円 ×	12 月 ×	2 人 ×	0.5 =	69,240																																																																																															
	米子駅⇄伯耆大山駅	3,450 円 ×	12 月 ×	1 人 ×	0.5 =	20,700																																																																																															
	米子駅⇄境港方面	7,150 円 ×	12 月 ×	7 人 ×	0.5 =	300,300																																																																																															
バス(回数券)	法勝寺線	4,600 円 ×	105 冊 ×	0.5	=	241,500																																																																																															
	御内谷線	4,300 円 ×	30 冊 ×	0.5	=	64,500																																																																																															
	その他	6,000 円 ×	25 冊 ×	0.5	=	75,000																																																																																															
						2,612,220																																																																																															
(歳入内訳 単位:円)																																																																																																					
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																														
15-2-6-1	鳥取県高校生通学費助成制度補助金		1,430,000	1,255,000	18 負担金補助及び交付金	2,871,500	2,512,500																																																																																														
	一般財源		1,441,500	1,257,500																																																																																																	
	計		2,871,500	2,512,500	計	2,871,500	2,512,500																																																																																														
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		保護者の経済的負担軽減のため引き続き広報を続けていく。																																																																																																		
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																				
	達成できた点をさらに伸ばす方策		窓口申請の際に、電子申請についても紹介及び説明を行い、一層の利用促進を図る。																																																																																																		
	解決すべき課題への方策		申請漏れののないよう、広報なんぶ掲載や中学3年生の保護者への本事業の案内をこれまで通り継続して行い利用を促す。また、ニーズの調査手法を検討していく。																																																																																																		

事業名	10	高校等通学定期券助成事業	所属名	総務・学校教育課
-----	----	--------------	-----	----------

(実績)
①成果実績または活動実績

○ 申請人数、申請件数及び助成額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
申請人数		113名	102名	89名
申請件数	バス	158件	153件	103件
	鉄道	80件	66件	55件
	回数券	125件	114件	158件
	計	363件	333件	316件
助成額	バス	1,934,600円	1,870,800円	1,346,500円
	鉄道	795,600円	561,100円	630,300円
	回数券	522,100円	439,600円	535,700円
	計	3,252,300円	2,871,500円	2,512,500円

○ 令和5年度より開始した電子申請での受付が、申請件数284件のうち256件で、全体の約90%と利用率が向上している。

②成果または活動の問題点

- ・ 対象生徒は減少している。申請件数及び金額は徐々に少なくなっている。
- ・ 定期券の利用者減と回数券の利用者増という傾向がみられる。また、対象生徒の減少のみならず、送迎等により公共交通機関の利用が減っている。

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計																																							
事業名		13	少人数学級対応事業						所属名	総務・学校教育課																																							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童生徒					総合計画における位置づけ																																									
	意図 (対象をどうするか)		学校生活全体において、よりきめ細やかな指導・支援をうけられるようにする。					④保育及び学校・家庭教育の充実																																									
	成果の視点 (どのような効果があるか)		児童一人ひとりに目が行き届くことで、個々の学習進度や理解度に合わせたきめ細やかな指導が可能になるとともに、つまずきの早期発見や得意分野の伸長が促され、主体的な学習意欲と自己肯定感の向上につながる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																									
								②子育て環境の充実																																									
								根拠法令・要綱等																																									
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		100.00 %																																									
		2,000,000 円	5,000,000 円	3,000,000 円	150.0 %																																												
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減																																												
		2,000 千円	5,000 千円	3,000 千円	150.0 %																																												
【事業内容】 小学校は、全学級における30人学級を編制する。 中学校は、1年生33人学級、2,3年生35人学級を編成する。																																																	
R6年度学級編成基準(R7は小6も県30人)																																																	
<table><tr><td></td><td>小1</td><td>小2</td><td>小3</td><td>小4</td><td>小5</td><td>小6</td><td>中1</td><td>中2</td><td>中3</td></tr><tr><td>南部町</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>33</td><td>35</td><td>35</td></tr><tr><td>県</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>30</td><td>35</td><td>33</td><td>35</td><td>35</td></tr><tr><td>国</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td></tr></table>											小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	南部町	30	30	30	30	30	30	33	35	35	県	30	30	30	30	30	35	33	35	35	国	35	35	35	35	35	35	40	40	40
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3																																								
南部町	30	30	30	30	30	30	33	35	35																																								
県	30	30	30	30	30	35	33	35	35																																								
国	35	35	35	35	35	35	40	40	40																																								
県 協力金 南部町 教員 ・小1、小2、中1は県費により少人数学級実施 ・それ以外の学年は、国基準を超えて県基準の少人数学級を実施する場合は200万円の協力金が必要 ・県基準を超えて少人数学級を実施する場合は500万円の協力金が必要																																																	
【決算の状況】 (計画) ○ 会見小6年(33人)を、県の基準により1年前倒しをして30人以下の2学級編制とする。																																																	
(実績) ①成果実績または活動実績 ○ 会見小6年 5,000,000円																																																	
・ 少人数学級により学習環境を整え、個々の実態を細やかに見取り、個に応じた指導や良さを認めることで、学級や学習に対する意欲が高まった。 令和6年度全国学力・学習状況調査児童質問紙(6年) ・自分には、よいところがあると思いますか 南部町:85.8% 全国:84.1% ・学校に行くのは楽しいと思いますか 南部町:89.6% 全国:84.8%																																																	
②成果または活動の問題点 30人学級の充実を図り、児童生徒が安心して学校生活を送れるようにする必要がある。																																																	
※令和5年度は会見小6年(36人)について30人以下の2学級編成としたため、県基準の少人数学級実施となり200万円の協力金を支払った。																																																	
(歳入内訳 単位:円)																																																	
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																									
						25 寄附金	2,000,000	5,000,000																																									
	一般財源			2,000,000	5,000,000																																												
	計			2,000,000	5,000,000	計	2,000,000	5,000,000																																									
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		少人数学級を継続し、引き続ききめ細やかな指導・支援を行う。																																														
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																
	達成できた点をさらに伸ばす方策		少人数学級のよさを生かした児童生徒同士の学び合いや発表の場を増やすことで、学習や生活に対する意欲を高め、自己肯定感を更に高める。																																														
	解決すべき課題への方策		中学校においても、少人数指導を充実させる。																																														

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名		14	学校経営校長戦略事業						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童生徒、教職員					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		学校課題を解決するための戦略的学校経営を推進し、学校教育の充実を図る。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		教職員の授業力向上による学力向上や各中学校区における小中の系統性を生かした教育の推進、働き方改革の視点など学校課題の解決を図る					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		92.13	%	
		928,372 円	725,049 円	△ 203,323 円	△ 21.9 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		1,062 千円	787 千円	△ 275 千円	△ 25.9 %					
【事業内容】										
○ 現地を訪れて先進的な取組に学び、新たな学力向上モデルの構築を図る。										
○ 学校別・中学校区別課題を明確にし、小小連携・小中連携の推進を基盤として、その課題解決に校長のリーダーシップを発揮し、戦略的な取組を展開する。										
○ 授業研究会、研修会の開催等、学校課題の解決に資する取組を実施する。										
【決算の状況】										
(計画)										
○ 校内研修会、授業研究会等の開催										
・ 大学教授等の招聘										
・ 学級満足度アンケート等の見取りや分析についての研修 (南部中)										
研修講師 島根大学教員										
・ 人権講演会 (法勝寺中、南部中)										
研修講師 高橋智恵子 氏										
○ 先進地視察研修等										
・ 秋田県大館市 (西伯小、会見小)										
・ 岡山県真庭市 (会見二小)										
(実績)										
○ 校内研修会、授業研究会等の開催										
・ 10/22南部町教職員研修会 (全校)										
研修講師 秋田県大館市教育委員会										
教育研究所 米澤貴子 所長										
・ 3/17第1学年「キャリアビジョン講話」 (法勝寺中)										
研修講師 (株)山陰放送・松原佑基 氏										
・ 7/31南部中学校校内研修会 (南部中)										
研修講師 島根大学 藤原健 特認教授										
・ 11/15・16人権研修会 (法勝寺中、南部中)										
研修講師 高橋智恵子 氏										
○ 先進地視察研修等										
・ 11/1-3秋田県大館市 (西伯小、会見小)										
(全国小学校キャリア教育研究協議会)										
・ 11/15-16広島県広島市 (会見二小)										
(広島大学付属東雲小学校研究会)										
先進地視察の目的としていた複式学級での										
わたり授業の手法についての分科会へ参加。										
・ 8/1-2富山県南砺市 (法勝寺中)										
(市立中学校視察)										
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)					
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
18-2-4-1	さくら基金繰入金		928,372	725,049	7 報償費	81,000	223,000			
					8 旅費	457,400	373,195			
					10 需用費	43,494	0			
					13 使用料及び賃借料	267,608	88,154			
					17 備品購入費	78,870	40,700			
	一般財源		0	0						
計			928,372	725,049	計	928,372	725,049			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		学力向上、不登校対策等の主要な課題の解決に向けて、学校の実態に応じた研修や教材の購入を進めるとともに、小中連携の視点も取り入れ、各中学校区で授業改善、人権教育の充実が図れるようにする。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		各校の課題を分析し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた、授業改善、学級づくり等をさらに進めていく。							
	解決すべき課題への方策		働き方改革について、DX推進等の視点を入れた、多様な働き方を支援する。							

事業名	14	学校経営校長戦略事業	所属名	総務・学校教育課
-----	----	------------	-----	----------

- 特色ある取組

・ 問題データベースの導入 (南部中)

R5年度に数学、理科において導入したデータベース教材を継続し、新たに1教科導入する。

・ プログラミング体験の実施 (会見第二小)

ドローンを購入し、特別活動等で児童生徒のプログラミング教育を推進する。
- 特色ある取組

・ 問題データベースの導入 (南部中)

東京書籍Webライブラリー問題データベース
数学、理科の継続使用。

・ プログラミング体験の実施 (会見第二小)

子どもたちが、試行錯誤しながらプログラミング
をすることで、問題解決能力を育成した。
- 町内学校が取り組んでいる協同学習、人権教育等
について、講師を招聘することで、学校の課題解決
に向けた取組を外部の目で評価してもらい、さらに
改善を図ることができた。
- 複式学級、まち未来科につながるキャリア教育等、
学校の課題に合わせた先進地視察、研究大会へ
参加することで、研修成果を校内に還元し、共通
理解のもと授業実践に生かすことができた。

単位:円

細 節	予算額	決算額	内 容
報償費	233,000	223,000	7/31南部中校内研修会講師謝金9,000円×2時間＝18,000円 10/22南部町教職員研修会講師謝金45,000円 〔 授業参観・打合せ等6,000円×3時間 師範授業・授業研究会・講義等9,000円×3時間 〕 11/15・16法勝寺中・南部中人権講演会講師謝金150,000円 〔 法勝寺中 50,000円×2人 南部中 50,000円×1人 〕 3/17法勝寺中第1学年「キャリアビジョン講話」講師謝金10,000円 ※前年比142,000円(講師謝金の増)
普通旅費	380,000	373,195	8/1-2富山県南砺市(法勝寺中)53,699円×2人＝107,398円 10/22南部町教職員研修会講師旅費31,580円 県内他自治体で講演あり、片道のみ負担 11/1-3秋田県大館市(西伯小、会見小)103,030円×2人＝206,060円 11/15-16広島県広島市(会見二小)27,380円 3/17法勝寺中第1学年「キャリアビジョン講話」講師旅費777円
使用料	121,000	88,154	中学校問題データベース使用料 ※前年比△179,454円(デジタル採点ソフトの導入完了による減)
備品購入費	53,000	40,700	プログラミングドローン20,350円×2台 ※前年比△38,170円(購入台数の減、R5:3台→R6:2台)
計	787,000	725,049	

- ②成果または活動の問題点
- 働き方改革について、教材等を購入するだけで
終わることなく、情報共有等デジタル機器の活用
がさらに必要。

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計	
事業名		17	ICT活用事業						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童生徒、教職員					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		ICTを活用しながら、学びの深化・展開を図り、主体的に学習に向かう力を育む。					④保育及び学校・家庭教育の充実			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		1人1台端末と通信ネットワークの学校ICT環境整備を進め、多様な場面でのタブレット端末の活用を通して児童生徒の情報活用能力の育成を図り、主体的・対話的で深い学びの充実を図る。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								②子育て環境の充実			
								根拠法令・要綱等			
								教育基本法、学校教育の情報化の推進に関する法律、南部町教育振興基本計画、南部町教育情報セキュリティポリシー、鳥取県eラーニング教材活用等支援事業費補助金			
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引		増減		令和6年度執行率		99.62 %		
	11,296,932 円	5,175,056 円	△ 6,121,876 円		△ 54.2 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引		増減						
	11,374 千円	5,195 千円	△ 6,179 千円		△ 54.3 %						
【事業内容】 ○1人1台端末がネットワークにつながり、円滑に活用できるよう学校ICT環境を整備する。 ○1人1台端末を活用して個人の進度に合わせて学べるソフト、機器を整備する。 ○オンラインを活用して校外施設等とつないだり、教室での協同的な学びを推進するために、大型モニターを各教室(81室:西小25、会小15、会二小7、法中17、南中16、さくらんぼ1)に整備する(5年目/6年計画 R5まで48台設置済)											
【決算の状況】 (計画) ○1人1台端末の活用に係る学校ICT環境整備 ・ 学習用タブレット端末のアカウント等設定委託料 308,000円 ・ 教育用サーバのリース料 70,400円/月×12ヶ月＝844,800円 ・ 端末のフィルタリングソフト使用料 204,336円 (5年総額 1,021,680円)R3.4～R8.3 ・ 授業目的公衆送信補償金 小学校(479人) 63,228円 中学校(281人) 55,638円 (実績) ①成果実績または活動実績 ・ 学習用タブレット端末のアカウント等設定委託料(12) 308,000円(株式会社KOA 新小1、中1、転入者の端末整備、端末のサポート) ・ 教育用サーバのリース料(13) 70,400円/月×12ヶ月＝844,800円(株ケイズ) ・ 端末のフィルタリングソフト使用料(13) 204,336円 (インターネット有害サイトブロック) ・ 授業目的公衆送信補償金(21) 小学校(466人) 59,664円 中学校(265人) 51,282円 授業目的で資料や教科書データ等を許諾不要で端末に送信可能にするための補償金 1人1台端末を安心・安全に利用できる環境を整えることで児童生徒がICTの活用にも効果を感じることができた。 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙(肯定的評価) ・自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。 小:81.8% 中:75.0%(全国小:85.5% 中:80.2%) ・分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。 小:88.3% 中:92.3%(全国小:92.1% 中:93.9%) ・画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる 小:93.5% 中:91.3%(全国小:89.8% 中:89.0%) ※大型モニター購入数減のため備品購入費減 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額			
14-2-1-1	デジタル田園都市国家構想推進交付金		4,908,475	0	12 委託料		308,000	308,000			
15-2-6-1	鳥取県eラーニング教材活用等支援事業費補助金		598,125	598,125	13 使用料及び賃借料		2,416,390	2,418,390			
20-5-5-1	ICT機器売却料		7,029	0	17 備品購入費		8,461,200	2,337,720			
					21 補償補填及び賠償金		111,342	110,946			
	一般財源		5,783,303	4,576,931							
	計		11,296,932	5,175,056	計		11,296,932	5,175,056			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		整備された児童生徒用・指導用パソコンの保守点検及びソフトウェア等の更新を行い、児童生徒が活用できる環境を整えるとともに、タブレットを児童生徒が主体的に活用し課題解決を図る授業に改善する。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策	児童生徒のICT機器利用に対する意欲の高さを生かし、児童生徒の主体的な活用をさらに進め、自ら表現したり、他者と比較したりしながら課題解決できるよう、情報活用能力の育成を図る。									
	解決すべき課題への方策	ICTの利点である共有機能と外部連携について、研修や情報発信をして、学びの深化が図れる利用を推進していく。									

事業名	17	ICT活用事業	所属名	総務・学校教育課
○個人の進度に合わせて学べるソフト、機器の整備 - クラウド型ドリル教材(小5教科、中9教科) 小3～中3・教職員1,595×850アカウント＝1,355,750円 ○各教室への大型モニター設置 - 学校の大型モニターの更新 7台 2,340,800円 ○令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金に係るKPI(2年目)の設定 - オンライン校外学習等実施回数 75回 - ICT機器利活用への意欲 75% デジタル田園都市国家構想交付金				
- クラウド型ドリル教材(13) 1,355,750円 児童生徒が取り組んだ問題数がR4は40,761問からR5年度は92,428問に増加しており、家庭への端末の持ち帰りが進んだり、わからない問題に自ら取り組む学び方が身についてきた。 - 学校の大型モニターの更新(17) 2,337,720円 17台(西小5、会小4、会二小1、法中4南中2、さくらんぼ1) - オンライン校外学習等実施回数 21回 - ICT機器利活用への意欲91% ②成果または活動の問題点 自らの考えをアウトプットしたり、友達の意見と比較して学びを深めるようにさらに主体的な学びを推進する必要がある。 全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙(肯定的評価) - 自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる 小:70.2% 中:68.5%(全国小:79.2% 中:77.7%) - 友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる 小:71.5% 中:76.1%(全国小:86.1% 中:86.2%) オンライン校外学習の実施回数が少ない				

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名		24	学校防犯対策強化事業						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童生徒、教職員					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		防犯カメラ等を設置し、防犯対策を強化する。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		近年、学校内で部外者による犯罪が増えているため防犯カメラ等及び非常通報装置を設置し、不審者の侵入を防ぐ一助となる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		96.94 %		
		0 円	10,395,000 円	10,395,000 円	100.0 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		0 千円	10,723 千円	10,723 千円	100.0 %					
【事業内容】 南部町立小・中学校へ職員室や玄関の警備及びさすまたの配置に加え録画機能付き防犯カメラ等を設置する。 学校施設環境改善交付金及び地方財政措置を活用(実質負担2割)										
【決算の状況】 (計画) ○ 防犯カメラ18台 モニター5台 8,635,000円 非常通報装置5台 2,178,000円 内訳 ・西伯小学校 防犯カメラ4台 天吊モニター1台 非常通報装置1台 ・会見小学校 防犯カメラ3台 天吊モニター1台 非常通報装置1台 ・会見第二小学校 防犯カメラ3台 据置モニター1台 非常通報装置1台 ・法勝寺中学校 防犯カメラ4台 天吊モニター1台 非常通報装置1台 ・南部中学校 防犯カメラ4台 天吊モニター1台 非常通報装置1台										
(実績) ①成果実績または活動実績 ○ 防犯カメラ18台 モニター5台 R7.1完成 有限会社 はしもと 8,360,000円 非常通報装置5台 R7.3完成 テルウェル西日本 株式会社 2,035,000円 内訳 ・西伯小学校 防犯カメラ4台 天吊モニター1台 非常通報装置1台 ・会見小学校 防犯カメラ3台 天吊モニター1台 非常通報装置1台 ・会見第二小学校 防犯カメラ3台 据置モニター1台 非常通報装置1台 ・法勝寺中学校 防犯カメラ4台 天吊モニター1台 非常通報装置1台 南部中学校 防犯カメラ4台 天吊モニター1台 非常通報装置1台										
普段教職員の目の行き届かない学校の入り口等の様子が職員室で教職員が確認できるようになり防犯対策につながっている。										
②成果または活動の問題点 教職員が常にモニターを確認することが難しい。 ※新規事業のため工事請負費増										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額
14-2-5-1		学校施設環境改善交付金			0	4,868,000	14 工事請負費		0	10,395,000
21-1-6-1		学校防犯対策強化事業債(学校教育施設等整備事業債)			0	4,900,000				
		一般財源			0	627,000				
		計			0	10,395,000	計		0	10,395,000
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		令和6年度事業完了。維持・管理に努める。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		今後も防犯対策に努めていく。							
	解決すべき課題への方策		今後はさらなる防犯対策を進めることで安心安全な環境を整えるとともに児童生徒及び教職員に対して防犯意識を高める啓発をしていく。							

款	9	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費	会計名	一般会計
事業名		25	学校トイレ洋式化工事						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童生徒、教職員、地域住民					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		すべてのトイレを洋式化することで学校環境を整える。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		多くの家庭において洋式トイレの普及が進んでいる状況を鑑み、家庭と同様に安心して使うことができる環境の整備とともにバリアフリー化の観点から学校を利用する方が安心して利用できるようにする。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
		令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	教育基本法、学校教育法、学校施設環境改善交付金交付要綱、南部町立学校の設置等に関する条例			
前年度比較	0 円		36,230,700 円	36,230,700 円	100.0 %					
	令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度			96.96 %	
	0 千円		37,366 千円	37,366 千円	100.0 %	執行率				
【事業内容】 南部町立小・中学校のすべてのトイレを洋式化する。 【決算の状況】 (計画) ○町内5校 51台 37,366,000円 内訳 ・西伯小学校 10台 ・会見小学校 19台 ・会見第二小学校 3台 ・法勝寺中学校 10台 ・南部中学校 9台 (実績) ①成果実績または活動実績 ○町内5校 51台 36,230,700円 内訳 ・法勝寺中校区 R7.3完成 有限会社 はしもと 14,780,700円 西伯小学校 10台 法勝寺中学校 10台 ・南部中校区 R7.2完成 有限会社 会見設備 21,450,000円 会見小学校 19台 会見第二小学校 3台 南部中学校 9台 ・多くの家庭で洋式トイレが普及している中、児童生徒が家庭と同じ環境で使えるようになった。 ・バリアフリーの観点から避難所等になった際、誰でも使えるようになった。 ②成果または活動の問題点 和式トイレだった場所に洋式トイレを設置したため、個室が狭く感じることもある。										
(歳入内訳 単位:円)						※新規事業のため工事請負費増 (歳出内訳 単位:円)				
款-項-目-節	科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
14-2-5-1	学校施設環境改善交付金			0	2,401,000	14 工事請負費	0	36,230,700		
21-1-6-1	学校トイレ洋式化事業債(合併特例事業債)			0	23,900,000					
	一般財源			0	9,929,700					
計				0	36,230,700	計	0	36,230,700		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		令和6年度事業完了。維持・管理に努める。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		すべてのトイレの洋式化が完了したため今後も現場のニーズに合わせた学校環境整備に努めていく。							
	解決すべき課題への方策		長く使用できるよう維持・管理に努めていく。							

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	1	学校管理費	会計名	一般会計
事業名		1-1	小学校管理費						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童・教職員					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		学校施設の管理など環境を整えることによって、児童が健全で安全に学ぶことができる教育環境の整備を行う。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		児童の安心安全な学校生活が確保され、地域や保護者から信頼される学校づくりを展開していく。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		教育基本法 学校教育法 学習指導要領 南部町立小・中学校管理規則		
		39,053,535 円	38,891,746 円	△ 161,789 円	△ 0.4 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		42,051 千円	40,419 千円	△ 1,632 千円	△ 3.9 %					
【事業内容】										
○ 学校施設設備の維持管理を行う。 (電気、水道、施設修繕、備品修理、電話(学校携帯)、火災保険、電気管理、エレベータ点検委託、消防設備等保守点検委託、警備委託、遊具点検、空調設備保守点検委託、庭木整備・消毒業務、校舎清掃、産業廃棄物処分、AED借上、コピー機・印刷機賃借等)										
○ 児童・教職員の学校生活と学校運営管理に必要な物品を購入する。 (印刷用紙、インク等の消耗品、環境整備物品、印刷製本、医薬品、郵券、管理備品等)										
○ 児童・教職員の健康と安全のための事業を行う。 (学校医等報酬、健康診断検査料、スポーツ振興センター負担金等)										
【決算の状況】										
(計画) (実績)										
①成果実績または活動実績										
詳細は次ページに掲載										
②成果または活動の問題点										
屋外防水、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備、付属施設の経年劣化が進んでいる。										
■ 日本スポーツ振興センター「災害共済給付金制度」										
学校管理下での児童生徒の負傷・疾病等に対し給付金を支払う公的制度。掛金は国、設置者、保護者の三者で負担し、加入率は小中学校ではほぼ100%。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
20-5-5-1	太陽光発電売電料		24,184	17,709	1 報酬	795,600	779,400			
20-5-5-1	日本スポーツ振興センター掛金受入金		188,140	180,780	10 需用費	25,513,428	25,051,578			
21-1-6-1	小学校管理事業債(公共施設等適正管理推進事業債)		1,100,000	0	11 役務費	2,055,328	2,168,574			
					12 委託料	7,856,048	7,574,459			
					13 使用料及び賃借料	1,754,490	1,746,221			
					15 原材料費	63,806	74,070			
					17 備品購入費	599,030	1,095,204			
					18 負担金補助及び交付金	415,805	402,240			
	一般財源		37,741,211	38,693,257						
	計		39,053,535	38,891,746	計	39,053,535	38,891,746			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		児童・教職員の安心安全な教育環境を今後も継続して整備していくとともに、学校としてのニーズをより明確にすることで、地域や保護者から信頼される学校づくりの具現化を図っていく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		経年劣化等による補修やより安心、安全に学べる施設環境整備項目について、その重要度や緊急性を十分に協議し、計画的に要望、執行する。カイゼンプランを共有し、経費節減を図っていく。							
	解決すべき課題への方策		使用頻度や安全性への配慮を鑑み、優先順位をつけて経年劣化の見られる施設・設備の修繕・工事を行うっていく。							

事業名	1-1	小学校管理費		所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】（計画）（実績）①成果実績または活動実績					
会見小学校・会見第二小学校・西伯小学校				単位:円	
細節	予算額	決算額	内 容		
非常勤等報酬	792,000	779,400	内科医183,200円 歯科医183,200円 眼科医153,200円 耳鼻科医153,200円 薬剤師106,600円		
消耗品費	3,000,000	2,960,484	一般事務用824,807円 管理用266,746円 資料用6,500円 コピー907,225円 清掃用146,681円 給食用136,945円 保健用228,774円 感染症対策用160,469円 芝生用236,907円 消火器整備45,430円		
燃料費	321,000	239,200	ガス119,072円 ガソリン44,900円 灯油73,248円 軽油1,980円		
食糧費	15,000	14,933	来客用茶14,933円		
印刷製本費	68,000	59,004	校長用写真複写42,075円 卒業証書114枚16,929円		
光熱水費	14,006,000	13,798,898	電気11,097,849円 水道2,701,049円		
施設修繕料	6,796,636	6,796,636	(会小) 電話機自動応答装置設置66,000円 エアコン修繕391,490円 遊具撤去新設3,199,900円 校長室埋込照明器具取替99,000円 中庭倉庫床修繕990,000円 多目的トイレウォシュレット交換99,000円 教室棟バキューム及び配管洗浄98,670円 汚水桝モルタル修繕56,914円 後校舎給水管バルブ修繕264,550円 他 (二小) プール壁面、床面修繕297,000円 2階非常階段修繕253,000円 ポンプ室ブレーカー修繕48,400円 蛇口、換気扇修繕89,232円 他 (西小) チャイム修繕133,650円 電話機自動応答装置設置66,000円 エアコン修繕248,600円 プールろ過循環ポンプ修繕194,700円 他		
備品修繕料	200,000	194,449	芝刈機、トイレ、ガス栓、水栓柱修繕194,449円		
医薬材料費	1,092,000	987,974	保健室医薬品228,655円 プール医薬品759,319円		
通信運搬費	920,000	817,201	電話 732,156円 公用携帯 59,629円 郵券 25,416円		
手数料	774,000	682,790	クリーニング77,330円 ピアノ調律76,670円 飲料水検査11,000円 プール水質検査140,580円 裁断機刃研ぎ11,440円 ミシン点検10,000円 オージオメータ点検校正49,500円 浄化槽法定検査5,200円 ホース耐圧試験7,700円 簡易専用水道検査17,050円 産業廃棄物処理料211,200円 大型モニター処分料65,120円		
火災保険料	669,000	668,583	建物災害共済委託分担金668,583円		
保守点検委託料	3,044,096	3,002,053	電気管理455,000円(前田電気管理事務所) 消防設備点検522,500円(上田商事) エレベータ保守点検316,800円(ジャパンエレベータ) 印刷機保守132,000円(はらぶん米子支店) 遊具点検72,270円(キラら・きっず) 空調設備保守点検761,618円(TBM) プールろ過機点検320,400円(モチダ) 貯水槽清掃殺菌衝動作業55,000円(サンクリーン) 浄化槽維持管理29,700円(みつわ環境開発) 芝刈機維持管理336,765円(三協建機)		
施設管理委託料	3,732,000	3,724,966	学校警備13,200円×12月×3校＝475,200円(北陽警備保障) 施設清掃2,219,250円(東亜建物管理) 庭木剪定等環境整備808,078円(南部広域シルバー人材センター) 防雪ネット設置・撤去70,088円(南部広域シルバー人材センター) 浄化槽清掃53,350円(みつわ衛生社) メタセコイヤ枝落とし撤去99,000円(西部森林組合)		
その他の委託料	1,161,268	847,440	児童健康診断348,370円(鳥取県保健事業団) 教職員健康診断453,970円(鳥取県保健事業団) ハチの巣駆除45,100円(サンクリーン)		
借上料	511,000	448,140	AED借上36,000円×3校＝106,920円 コピー機賃借660円×12月×2校＝15,840円 印刷機賃借11,000円×12月×2校＝250,800円 モップ賃借6,215円×12月＝74,580円		
使用料	1,529,000	1,298,081	NHK受信料3台49,104円 下水道使用料1,248,977円		
原材料費	168,000	74,070	プール補修用テープ37,528円 校舎修繕用36,542円		
備品購入費	1,169,000	1,095,204	(会小) スタндартスクリーン55,440円 充電式掃除機33,000円 事務用机119,900円 丸椅子146,520円 スタッキング椅子191,664円 (二小) 保健室パーテーション22,000円 図書館プリンター36,080円 木製書架325,600円 (西小) シュレッダー99,000円 ブックラック66,000円		
その他負担金	451,000	402,240	日本スポーツ振興センター設置者負担分468名220,540円 日本スポーツ振興センター保護者負担分395名181,700円		
計	40,419,000	38,891,746			
※R5年度との比較 大幅な増減 ○備品購入費 備品品目、数、金額による増					

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	1	学校管理費	会計名	一般会計
事業名		1-2	コンピュータ整備事業(小学校)						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童・教職員					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		コンピュータを中心とした情報機器の整備を充実し、教育の質的改善と情報化時代に生きる力の育成、及び教職員の校務の効率化を進める。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		コンピュータ環境の整備により機器活用が図られ、より学習効果の高い授業を行うことができる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	教育基本法 学校教育法 学習指導要領 南部町立小・中学校管理規則 教育振興基本計画					
	5,468,742 円	4,331,697 円	△ 1,137,045 円	△ 20.8 %						
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度	97.58 %				
	6,085 千円	4,439 千円	△ 1,646 千円	△ 27.1 %	執行率					
【事業内容】										
○ デジタル教科書やデジタルドリル教材の利活用やオンライン校外学習などICTを活用した授業実践を支える環境整備(教育振興基本計画重点施策)										
○ 児童用・職員用のパソコン、周辺機器及び校内ネットワークの設備の維持管理を行う。 ・インクカートリッジ等消耗品の購入、タブレット修理 ・賃借料(～R6.8月)、ハード・ソフト保守(R6.9月～)										
○ 情報機器を活用し、教育の質的改善と児童の情報化時代に生きる力の育成を進める。										
○ 調べ学習にタブレット端末を利用し、情報収集・発信の技術習得と情報モラルを身につける。										
○ 教職員の校務の効率化を進める。										
【決算の状況】 (計画) (実績) ①成果実績または活動実績										
会見小学校・会見第二小学校・西伯小学校										
単位:円										
細 節		予算額	決算額	内 容						
消耗品費		480,000	462,365	プリンター消耗品(トナー・インク・ドラムユニット)388,775円 パソコン周辺消耗品73,590円						
備品修繕料		330,000	324,830	タブレット修理 324,830円						
保守点検委託料		1,236,000	1,191,960	ハード・ソフト保守 198,660円×6月＝1,191,960円(ケイズ)						
借上料		2,393,000	2,352,542	パソコンリース 78台(会小29台、二小11台、西小38台)2,352,542円						
計		4,439,000	4,331,697							
※R5年度との比較 大幅な増減										
○ 保守点検委託料 令和6年9月末でリース終了の教職員パソコンのハード・ソフト保守契約したことによる増										
○ 借上料 教職員パソコンのリース契約が令和6年9月末で終了したことによる減										
②成果または活動の問題点										
・ICT活用には、複雑化、多様化に対応する指導面や整備面での課題がある。										
■公立学校情報機器整備事業に係る各種計画										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
					10 需用費	683,910	787,195			
					12 委託料	0	1,191,960			
					13 使用料及び賃借料	4,784,832	2,352,542			
	一般財源		5,468,742	4,331,697						
	計		5,468,742	4,331,697	計	5,468,742	4,331,697			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		教職員の技能向上を図るため、今後もICT支援員のサポートを受けたり、教育DX巡回訪問を活用し充実させていく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		校内研修を通して授業の中でのICT活用の習熟を図っていく。また、ICT活用の先進校の校内研修会に参加し、他校の実践も取り入れる。							
	解決すべき課題への方策		ICTを活用した授業の校内参観、研修を通して全職員でICTを有効に活用して授業が実践できるようにする。長期休業中だけでなく、週末や平日のタブレット端末持ち帰りを検討していく。職員間の情報共有にも積極的にICT機器を活用し、ペーパーレス化を推進する。							

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名		1	小学校教育振興費						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童・教職員					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		教育目標の達成に向け、毎日の教育活動や各教科・領域の年間指導計画に基づく学習活動を推進する。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		学習指導の充実を図ることができる。児童の豊かな体験活動が図られる。児童が楽しく学べる学校となる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	教育基本法 学校教育法 学習指導要領 南部町立小・中学校管理規則				
		15,400,172 円	25,133,753 円	9,733,581 円	63.2 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		15,900 千円	25,906 千円	10,006 千円	62.9 %					
令和6年度執行率										97.02 %
【事業内容】 ○ 教育活動を充実させるために外部講師を招聘する。 ○ 指導に必要な教材を定期的に把握し、計画的な購入を行う。 ○ 授業に必要な教材、教材づくりのための物品購入を行う。 ○ 運動会、学習発表会、入学式、卒業式等の行事に係る物品の購入を行う。 ○ 卒業文集等の印刷製本を行う。 ○ 児童理解につながる情報収集と分析のための学力調査、知能検査を行う。 ○ いじめ・不登校の未然防止・早期発見による望ましい人間関係づくりに生かすため、ハイパーQUを実施する。 ○ 校外学習や対外試合等、授業や行事で児童を輸送するためのバスの手配を行う。 ○ 効果的な教授活動を行うための教材備品の購入を行う。 ○ 児童用図書、職員用図書の購入を行う。 ○ 教育活動を実施するための必要な経費を負担、補助する。										
【決算の状況】 (計画) (実績) ①成果実績または活動実績 詳細は次ページに掲載 ②成果または活動の問題点 学力調査の結果を見ると多くの学年が全国平均を下回っており、学力向上に課題がある。										
■学校評価 西伯小 会見小 会見第二小 法勝寺中 南部中										
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節	科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額		
14-2-5-1	理科教育設備整備費補助金			55,000	0	1 報酬	725,264	727,082		
18-2-4-1	さくら基金繰入金			0	9,401,845	8 旅費	101,284	106,510		
						10 需用費	6,851,061	15,708,097		
						11 役務費	20,625	17,445		
						12 委託料	1,563,200	1,830,198		
						13 使用料及び賃借料	1,794,970	2,374,530		
						15 原材料費	93,768	141,330		
						17 備品購入費	3,393,124	3,326,699		
						18 負担金補助及び交付金	856,876	901,862		
	一般財源			15,345,172	15,731,908					
	計			15,400,172	25,133,753	計	15,400,172	25,133,753		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		町内の各学校と連携しながら令和の日本型学校教育の推進に向けて、個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、創意工夫してより効果的な予算の執行を行っていく。また、町内の各学校との連携・連動をさらに進めていく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		教職員に対して予算への意識づけを行うために、予算執行状況を定期的に伝える。児童の心身の発達段階や、特性を十分に考慮しながら必要な教材を常に点検・把握・情報共有をし迅速な整備を行う。							
	解決すべき課題への方策		各校の実情に応じた学習活動や体験活動をより一層充実させ、町内財産の有効活用を検討しながら、子ども達の主体的・協同的な学びを環境面から支えていく。購入内容を検討し、児童の実態に沿った教育活動の充実につながる必要な経費を確保する。							

事業名	1	小学校教育振興費	所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】（計画）（実績）①成果実績または活動実績 会見小学校・会見第二小学校・西伯小学校				
単位:円				
細節	予算額	決算額	内 容	
報償費	786,000	727,082	卒業記念品84名282,282円 ブラッシング指導70,000円 性教育81,000円 歯科指導20,000円 人権教育35,000円 大山登山ガイド42,000円 学習講師10,000円 読み聞かせ16,800円 協働学習161,000円	
普通旅費	117,000	106,510	人権教育講師28,520円 協働学習講師54,900円 バンドフェスティバル指導者23,090円	
消耗品費	15,226,000	15,225,087	教育事務用1,111,508円 教科用1,478,709円 学級経営301,923円 1～3年教材費2,616,604円(1年878,322円2年765,048円3年825,686円 特別支援147,548円) 教師用教科書、指導書9,716,343円	
印刷製本費	458,000	447,590	会小卒業文集146,300円 西小卒業文集137,940円 二小全校文集163,350円	
備品修繕費	80,000	35,420	楽器修繕24,750円 握力計修繕10,670円	
手数料	52,000	17,445	インターネットバンキング手数料16,015円 金融機関振込手数料1,430円	
その他の委託料	2,052,000	1,830,198	知能検査1・3・5年219名×490円＝107,310円(クレート上野) ハイパーQU2回922名×480円＝442,560円(クレート上野) 標準学力調査2回2642名×327円×10%＝950,328円(東京書籍)	
借上料	2,605,848	2,297,980	貸切バス借上 校外学習2,297,980円	
使用料	86,000	76,550	コグトレオンライン使用料20名×1,320円＝26,400円 花回廊入園料45名×190円＝7,200円 スキー教室駐車代2台×2,000円＝4,000円 インターネットバンキング使用料1,100円×12月×3金融機関＝39,600円	
原材料費	165,000	141,330	教科用(図工、家庭、理科)141,330円	
備品購入費	3,343,000	3,326,699	(会小)カラーマット19,470円 フレキシブルハードル47,520円 電子ピアノ91,300円 ブックトラック60,720円 絵画作品乾燥棚55,550円 国語ノート白版56,100円 児童用図書942,789円 フィルムコート装備11,132円 職員図書17,137円 (二小)四線マグネットシート23,100円 児童用図書500,302円 フィルムコート装備6,226円 職員図書18,139円 (西小)算数のアセスメント指導パッケージ11,000円 メタロフォン264,000円 パーテーション26,400円 学習白板34,100円 児童用図書1,099,881円 フィルムコート装備14,388円 職員図書27,445円	
その他負担金	263,000	229,710	西伯郡学校保健会負担金466名×15円＝6,990円 学校図書館協議会負担金2校×1,500円＋1校×2,000円＝5,000円 修学旅行引率経費7名×2,295円＝16,065円 修学旅行引率経費6名×2,845円＋1名×2,775円＝14,155円 修学旅行キャンセル保障保険料97名×910円＝88,270円 金管クラブ負担金・参加費32,500円 黄色い帽子・レインコート購入助成63,885円(帽子37名、レインコート32名)	
その他補助金	672,152	672,152	マーチングバンド全国大会補助金672,152円(26名参加)	
計	25,906,000	25,133,753		
児童用図書購入				
	会小	二小	西小	
購入冊数	529 冊	283 冊	711 冊	
購入金額	953,921 円	506,528 円	1,114,269 円	
図書蔵書率	208 %	183 %	135 %	
※R5年度との比較 大幅な増減				
○ 消耗品費 教科書全面改訂のため教師用教科書・指導書・デジタル教科書を購入したことによる増				
○ 原材料費 コロナ5類移行により調理実習を実施したことによる増				
■ハイパーQU				
不登校やいじめ防止、対人関係能力の育成に向けたより良い学校生活と友だちづくりのためのアンケート				
■コグトレオンライン				
認知機能の強化、学力や生活全般の質、自己効力感の向上として通級指導教室で活用				
■標準学力調査				
学力の状況を診断し、指導改善にいかす調査				

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計																																																														
事業名		2	地域とともに歩む学校づくり推進事業(小学校)						所属名	総務・学校教育課																																																														
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童・教職員					総合計画における位置づけ																																																																
	意図 (対象をどうするか)		地域学校協働活動推進員の配置等により、地域ぐるみで子どもを育む仕組みを整えることでめざす子ども像に近づける。					④保育及び学校・家庭教育の充実																																																																
	成果の視点 (どのような効果があるか)		中学校区ごとのめざす子ども像の実現に向け、地域と学校が協働した教育活動の推進や支援を展開することにより、地域とともに歩む学校づくりが進んでいる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																
								②子育て環境の充実																																																																
								根拠法令・要綱等																																																																
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	教育基本法 学校教育法 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領 南部町学校運営協議会設置要綱																																																																		
		1,250,164 円	1,076,607 円	△ 173,557 円	△ 13.9 %																																																																			
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減																																																																			
		1,434 千円	1,457 千円	23 千円	1.6 %																																																																			
令和6年度執行率		73.89 %																																																																						
【事業内容】 ○ 地域学校協働活動推進員を配置するとともに、協働活動を円滑に実施するための環境を整える。 ○ 児童を対象にした学力補充の場を設定し、基本的生活習慣の確立および学力の底上げを図る。 ○ 児童の学習や体験活動のために地域の方を講師に迎え、学習支援や地域の方との交流を行う。 (学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金の活用 補助率 国1/3・県1/3・町1/3) 【決算の状況】 (計画) (実績) ①成果実績または活動実績 詳細は次ページに掲載 ②成果または活動の問題点 めざす子ども像の実現に向けた学校と地域、家庭の連携強化が必要である。 ■中学校区CSグランドデザイン 法勝寺中学校区 南部中学校区																																																																								
(歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科目名称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>15-2-6-1</td><td>学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金</td><td>735,000</td><td>708,000</td><td>7 報償費</td><td>965,875</td><td>994,120</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10 需用費</td><td>118,883</td><td>29,109</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11 役務費</td><td>52,626</td><td>53,378</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13 使用料及び賃借料</td><td>112,780</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>515,164</td><td>368,607</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>1,250,164</td><td>1,076,607</td><td>計</td><td>1,250,164</td><td>1,076,607</td></tr></table>										款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	15-2-6-1	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金	735,000	708,000	7 報償費	965,875	994,120					10 需用費	118,883	29,109					11 役務費	52,626	53,378					13 使用料及び賃借料	112,780	0																一般財源	515,164	368,607					計	1,250,164	1,076,607	計	1,250,164	1,076,607
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																		
15-2-6-1	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金	735,000	708,000	7 報償費	965,875	994,120																																																																		
				10 需用費	118,883	29,109																																																																		
				11 役務費	52,626	53,378																																																																		
				13 使用料及び賃借料	112,780	0																																																																		
	一般財源	515,164	368,607																																																																					
	計	1,250,164	1,076,607	計	1,250,164	1,076,607																																																																		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		学校、児童、地域、保護者、CS同士の連携をさらに進め、保小中連携の視点を持った活動を行うための仕組みを整える。将来、ふるさとを愛し、豊かなふるさとづくりを担う子どもを育てるための組織作りと活動の充実を図る。																																																																					
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																							
	達成できた点をさらに伸ばす方策		地域力を活用するために、校区CS、各校CS委員会協働体制の充実を図っていく。特に、「まち未来科」のねらいを学校と地域が共有し、一体となって取組を進める。																																																																					
	解決すべき課題への方策		各CS委員が「中学校区CSグランドデザイン」の共有化を図り、めざす子ども像実現に向けた意識改革とともに中学校区CSの組織が実働に向うことができるよう熟議の場を設ける。																																																																					

事業名	2	地域とともに歩む学校づくり推進事業(小学校)	所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】（計画）（実績）①成果実績または活動実績 会見小学校・会見第二小学校・西伯小学校				
単位:円				
細 節	予算額	決算額	内 容	
報償費	1,343,000	994,120	地域学校協働活動推進員4名 137.75時間×1,120円＝154,280円 児童活動支援 577時間×1,000円＝577,000円 金管指導3名 132時間×1,120円＝147,840円 スキー教室 9名×5,000円＝45,000円 学習講師 14名×5,000円＝70,000円	
消耗品費	40,000	28,675	コピー用紙11,915円 2年生生活科野菜苗9,834円 三角コーン3,046円 ポリ袋1,960円 名札ケース1,124円 プラスチックグローブ796円	
燃料費	5,000	434	混合油 434円	
通信運搬費	10,000	4,028	郵券 4,028円	
その他の保険料	59,000	49,350	ボランティア保険 141名分 49,350円	
計	1,457,000	1,076,607		
○主な活動内容				
・中学校区CSランドデザインに基づき、コミュニティ・スクールの充実を図った。				
・地域学校協働活動推進員の配置により、教育活動支援に地域の人材を活用することができ、児童が安心して学習することができた。また、地域の方々と交流も図ることができ、児童のふるさとを愛する心を育むことができた。				
・「まち未来科」の授業や金管バンド、スキー教室の指導に専門的な指導者を招くことにより、学びの質や児童の技術の向上を図ることができた。				
・金管バンドは第52回マーチングバンド全国大会出場を果たした(西小)。				
・「なんぶっ子塾」の指導者により、児童の個別指導ができ、基礎学力の定着を図ることができた。(西小:のべ78名)				
・学校HPでコミュニティ・スクールのブログを立ち上げるなど活動の情報発信、充実を図ることができた。(西小)				
(会小)				
米・野菜・富有柿栽培の農業体験等の学習支援、学校行事・校外学習等児童学習支援、金管クラブ・邦楽体験教室・スキー教室の指導等				
(二小)				
ハッピーアイディアタイム活動、そば種まき、そば打ち、山菜採り遠足、わら馬づくり等				
(西小)				
苗植え・田植え・稲刈り・芋ほり・まなびウォーク・町探検等の校外学習支援、ミシン・かけ算・昔遊び・なんぶっ子塾等の学習支援、草取り・芝刈り等の環境整備、「まち未来科」講師、金管クラブ指導、邦楽体験教室等				
※R5年度との比較 大幅な増減				
○消耗品費				
・会小…R6年度よりセカンドスクールを実施しないこととしたことによる減				
・二小…活動中止や規模縮小、参加者減による減				
・西小… 消毒支援をやめたことによる消毒作業消耗品未購入による減				
○使用料及び賃借料				
・会小…R6年度よりセカンドスクールを実施しないこととしたことによる減				
■ハッピーアイディアタイム				
子どもたちの主体性を育てることを目的とし、週1回全学年が一緒に活動。				

款	9	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名		3	通学定期券発行事業(小学校)						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		公共交通機関により通学をする児童とその保護者					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		公共交通機関の通学による保護者負担を軽減する。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		児童の安心安全な通学と学業の専念及び保護者の負担軽減を図る。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
								南部町立小学校及び中学校の遠距離通学児童生徒通学費補助要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	99.89 %				
4,860,870 円		5,343,220 円	482,350 円	9.9 %						
前年度比較	令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減					
	5,625 千円		5,349 千円	△ 276 千円	△ 4.9 %					
【事業内容】 ○公共交通機関により遠距離通学をする児童を対象に通学定期券を支給する。 令和3年度より対象地区拡充(能竹、長田) ○町が学期ごとに通学定期券を購入し、学校を通じて支給する。 【決算の状況】 (計画) (転入者想定) 3名 187,800円 (西伯小学校) ○日の丸自動車路線バス利用児童見込み 91名 4,042,470円 ○ふれあいバス利用児童見込み 42名 @1,500円×11ヶ月×42名＝693,000円 ○南さいはくふれあいバス利用児童見込み 11名 @1,500円×11ヶ月×11名＝181,500円 (会見小学校) ○ふれあいバス利用児童見込み 3名 @1,500円×11ヶ月×3名＝49,500円 ○南さいはくふれあいバス利用児童見込み 1名 @1,500円×11ヶ月×1名＝16,500円 (会見第二小学校) ○ふれあいバス利用児童見込み 8名 @1,500円×11ヶ月×8名＝132,000円 ○南さいはくふれあいバス利用児童見込み 1名 @1,500円×11ヶ月×1名＝16,500円 (実績) ①成果実績または活動実績 (西伯小学校) ○日の丸自動車路線バス 利用児童 90名 通学定期券代 4,323,220円 (予算不足のため他事業より流用 28,840円) ○ふれあいバス(JTP) 利用児童 39名 通学定期券代 643,500円 ○南さいはくふれあいバス(日本海観光) 利用児童 10名 通学定期券代 168,000円 転入者3名 異動1名 転校等による返納6名 (会見小学校) ○ふれあいバス(JTP) 利用児童 3名 通学定期券代 49,500円 ○南さいはくふれあいバス(日本海観光) 利用児童 1名 通学定期券代 16,500円 (会見第二小学校) ○ふれあいバス(JTP) 利用児童 7名 通学定期券代 126,000円 ○南さいはくふれあいバス(日本海観光) 利用児童 1名 通学定期券代 16,500円 返納1名 ②成果または活動の問題点 学校からのダイヤの要望に応えきれない。 (歳入内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
							11 役務費	4,860,870	5,343,220	
		一般財源			4,860,870	5,343,220				
		計			4,860,870	5,343,220	計	4,860,870	5,343,220	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		今後も引き続き、支援の対象児童に、定期乗車券または回数券を支給し、安心安全な通学となるよう継続して支援する。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		定期乗車券、回数券の支給を適確に実施し、今後も保護者の負担軽減を図り、円滑な就学につなげる。							
	解決すべき課題への方策		児童の登下校に合わせた運行時刻や、他の乗客との兼ね合い等について、引き続き関係機関と調整を図っていく。							

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	1	学校管理費	会計名	一般会計
事業名		1-1	中学校管理費						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		生徒・教職員					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		学校施設の管理など環境を整えることによって、生徒が健全で安全に学ぶことができる教育環境の整備を行う。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		生徒の安心安全な学校生活が確保され、地域や保護者から信頼される学校づくりを展開していく。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率		教育基本法 学校教育法 学習指導要領 南部町立小・中学校管理規則		
		26,287,952 円	29,125,581 円	2,837,629 円	10.8 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		28,380 千円	32,574 千円	4,194 千円	14.8 %					
【事業内容】										
○ 学校施設設備の維持管理を行う。 (施設修繕、備品修理、電気、水道、灯油、電話(学校携帯)、体育館LEDランプ借上、AED借上、コピー機・印刷機賃借、火災保険、エレベータ点検委託、消防設備等保守点検委託、警備委託、遊具点検、空調設備保守点検委託、庭木整備・消毒業務、校舎清掃、産業廃棄物処分等)										
○ 生徒・教職員の学校生活と学校運営管理に必要な物品を購入する。 (印刷用紙、インク等の消耗品、印刷製本、郵券、備品、医薬品、環境整備物品等)										
○ 生徒・教職員の健康と安全のための事業を行う。 (学校医等報酬、健康診断検査料、スポーツ振興センター負担金等)										
【決算の状況】										
(計画) (実績)										
①成果実績または活動実績										
詳細は次ページに掲載										
②成果または活動の問題点										
屋外防水、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備、付属施設の経年劣化が進んでいる。										
■日本スポーツ振興センター「災害共済給付金制度」										
学校管理下での児童生徒の負傷・疾病等に対し給付金を支払う公的制度。掛金は国、設置者、保護者の三者で負担し、加入率は小中学校ではほぼ100%。										
(歳入内訳 単位:円)					(歳出内訳 単位:円)					
款-項-目-節	科目名称		前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
17-1-3-1	企業版ふるさと納税		0	150,000	1 報酬	467,700	478,500			
20-5-5-1	スポーツ振興センター掛金受入金		97,520	101,660	10 需用費	16,068,473	16,994,201			
21-1-6-1	中学校管理費事業債(公共施設等適正管理推進事業債)		1,900,000	2,600,000	11 役務費	1,226,540	1,416,966			
					12 委託料	5,491,515	5,441,535			
					13 使用料及び賃借料	1,112,855	1,031,804			
					14 工事請負費	0	2,079,000			
					15 原材料費	46,200	68,965			
					17 備品購入費	1,657,414	1,386,580			
					18 負担金補助及び交付金	217,255	228,030			
	一般財源		24,290,432	26,273,921						
	計		26,287,952	29,125,581	計	26,287,952	29,125,581			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		生徒・教職員の安心安全な教育環境を今後も継続して整備していくとともに、学校としてのニーズをより明確にすることで、地域や保護者から信頼される学校づくりの具現化を図っていく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		経年劣化等による補修やより安心、安全に学べる施設環境整備項目について、その重要度や緊急性を十分に協議し、計画的に要望、執行する。カイゼンプランを共有し、経費節減を図っていく。							
	解決すべき課題への方策		使用頻度や安全性への配慮を鑑み、優先順位をつけて経年劣化の見られる施設・設備の修繕・工事を行うっていく。							

事業名	1-1	中学校管理費	所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】（計画）（実績）①成果実績または活動実績				
南部中学校・法勝寺中学校				
単位:円				
細節	予算額	決算額	内 容	
非常勤等報酬	489,000	478,500	内科医93,000円 歯科医93,000円 眼科医93,000円 耳鼻科医93,000円 薬剤師66,500円	
消耗品費	2,380,000	2,375,571	一般事務用806,860円 管理用178,982円 資料用25,044円 コピー613,174円 清掃用261,068円 給食用81,630円 保健用286,505円 感染症対策用102,383円 消火器整備9,860円 交通安全看板10,065円	
燃料費	234,000	192,317	ガス代115,338円 灯油56,034円 混合油2,821円 軽油14,324円 ガソリン3,800円	
食糧費	10,000	9,284	来客用茶 9,284円	
印刷製本費	71,000	62,677	校長写真複写29,700円 卒業証書230枚17,077円 卒業アルバム15,900円	
光熱水費	11,868,810	9,836,040	電気9,141,467円 水道694,573円	
施設修繕料	4,297,095	4,297,095	(南中)屋外フェンス修繕935,000円 理科室エアコン修繕82,500円 自動応答装置設置59,070円 教室掃除用具入れ撤去165,000円 教室間仕切り壁撤去299,200円 技術室漏水修繕366,080円 多目的トイレ漏水修繕137,500円 他 (法中)中庭ゲートバルブ取替修繕81,730円 エアコン修理88,000円 調理室人研ぎ台地袋解体補修385,000円 自動応答装置設置59,070円 職員室・更衣室出入口改修815,100円 第2相談室床改修事280,500円 ホワイトボード張替102,850円 蓄熱メーター撤去・処分63,800円 受水槽自動給水装置修繕61,600円 他	
備品修繕料	60,000	59,806	扇風機、洗濯機、ラミネーター、掃除機、身長計修繕59,806円	
医薬材料費	176,000	161,411	保健医薬品161,411円	
通信運搬費	600,000	548,343	電話466,796円 公用携帯40,649円 郵券40,898円	
手数料	537,000	479,480	クリーニング44,770円 ピアノ調律44,110円 飲料水検査16,500円 プール水質検査23,870円 裁断機刃研ぎ5,720円 オージオメータ点検校正49,500円 浄化槽法定検査16,600円 ホース耐圧試験19,250円 産業廃棄物処理料211,200円 家電品処分料32,010円 大型モニター処分料15,950円	
火災保険料	390,000	389,143	建物災害共済委託分担金339,143円	
保守点検委託料	2,781,000	2,390,492	電気管理300,000円(前田電気管理事務所) 消防設備点検349,800円(上田商事) エレベータ保守点検11,000円×12月×2校＝264,000円(ジャパンエレベータ) 印刷機保守5,500×12月×2校＝132,000円(はらぶん米子支店) 遊具点検34,210円(キラら・きっず) 空調設備保守点検545,182円(TBM) プールろ過機点検53,600円(モチダ) 貯水槽清掃・水質検査・消火槽清掃71,500円(サンクリーン) 浄化槽点検業務640,200円(みつわ環境開発)	
施設管理委託料	2,501,000	2,485,148	学校警備13,200円×12月×2校＝316,800 円(北陽警備保障) 施設清掃1,438,030円(東亜建物管理) 庭木剪定等環境整備540,238円(南部広域シルバー人材センター) 浄化槽清掃190,080円(みつわ衛生社)	
その他の委託料	892,000	565,895	生徒健康診断277,145円(鳥取県保険事業団) 教職員健康診断288,750円(鳥取県保険事業団)	
借上料	716,000	663,665	AED借上36,000円×2校＝71,280円 コピー機賃借660円×12月×1校＝7,920円 印刷機賃借11,000円×12月×2校＝250,800円 学校主事自家用車借上6,720円 敷地借地料326,945円	
使用料	492,000	368,139	NHK受信料2台30,690円 下水道使用料337,449円	
工事請負費	2,165,000	2,079,000	法勝寺中体育館雨樋修繕工事2,079,000円	
原材料費	107,000	68,965	真砂土、校舎修理材料68,965円	
備品購入費	1,548,095	1,386,580	(南中)生徒用机35台396,550円 生徒用椅子35台273,350円 組み合わせテーブル2台205,040円 ミーティングチェア5脚49,280円 (法中)配膳台2台138,380円 ブックトラック84,480円 ウォータークーラー170,500円 刈払い機69,000円	
その他負担金	259,000	228,030	日本スポーツ振興センター負担金222名125,910円 日本スポーツ振興センター負担金保護者負担分222名102,120円	
計	32,574,000	29,125,581		
※R5年度との比較 大幅な増減 ○工事請負費 該当工事(体育館雨漏り修繕工事)があったことによる増				

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	1	学校管理費	会計名	一般会計	
事業名		1-2	コンピュータ整備事業(中学校)						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		生徒・教職員						総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		コンピュータを中心とした情報機器の整備を充実し、教育の質的改善と情報化時代に生きる力の育成、及び教職員の校務の効率化を進める。						④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		コンピュータ環境の整備により機器活用が図られ、より学習効果の高い授業を行うことができる。						「五つの挑戦」から見た位置づけ		
									②子育て環境の充実		
									根拠法令・要綱等		
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	南部町立小・中学校管理規則 教育振興基本計画						
	3,110,256 円	2,647,625 円	△ 462,631 円	△ 14.9 %							
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減			令和6年度執行率	98.46 %			
	3,247 千円	2,689 千円	△ 558 千円	△ 17.2 %							
【事業内容】											
○ デジタル教科書やデジタルドリル教材の利活用やオンライン校外学習などICTを活用した授業実践を支える環境整備(教育振興基本計画重点施策)											
○ 生徒用・職員用のパソコン、周辺機器及び校内ネットワークの設備の維持管理を行う。 ・インクカートリッジ等消耗品の購入、タブレット修理 ・賃借料(～R6.9月)、ハード・ソフト保守(R6.10月～)											
○ 情報機器を活用し、教育の質的改善と生徒の情報化時代に生きる力の育成を進める。											
○ 調べ学習にタブレット端末を利用し、情報収集・発信の技術習得と情報モラルを身につける。											
○ 教職員の校務の効率化を進める。											
○ オンライン学習に係る環境整備を整えていく。											
【決算の状況】 (計画) (実績) ①成果実績または活動実績											
南部中学校・法勝寺中学校 単価:円											
細 節		予算額	決算額	内 容							
消耗品費		736,000	732,843	プリンター消耗品(トナー・インク・ドラムユニット)662,886円 パソコン周辺消耗品 69,957円							
備品修繕料		307,000	305,800	タブレット修理 305,800円							
保守点検委託料		817,000	794,640	ハード・ソフト保守 132,440円×6月＝794,640円(ケイズ)							
借上料		829,000	814,342	パソコンリース 27台(南中) 814,342円							
計		2,689,000	2,647,625								
※R5年度との比較 大幅な増減											
○ 需用費 プリンターインクの購入、タブレット端末の不具合・故障等の修繕対応が減ったことによる減											
○ 保守点検委託料 令和6年9月末でリース終了の教職員パソコンのハード・ソフト保守契約したことによる増											
○ 借上料 教職員パソコンのリース契約が令和6年9月末で終了したことによる減											
②成果または活動の問題点											
・ICT活用には、複雑化、多様化に対応する指導面や整備面での課題がある。											
・ICT活用の推進を図っているが、複数のプラットフォームや端末回線があるため、十分な活用にまでは至っていない。(公務端末と学習端末の一元化が望ましい。)											
■公立学校情報機器整備事業に係る各種計画											
(歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節	科 目 名 称			前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額			
						10 需用費	1,453,968	1,038,643			
						12 委託料	0	794,640			
						13 使用料及び賃借料	1,656,288	814,342			
	一般財源			3,110,256	2,647,625						
	計			3,110,256	2,647,625	計	3,110,256	2,647,625			
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		テラトーク(英会話支援アプリ)の活用、QU(学校生活満足度調査)のタブレット端末での実施など、ICT活用による個に応じた支援の拡充を進めることができた。今後も個別最適の学びを具現化するDXを検討し推進していく。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		タブレット端末を活用することで、生徒の理解度を高める授業づくりを推進することができた。今後は、こうした各教科の学習を通して、ICTスキルやネットモラルについても習熟を図っていく。								
	解決すべき課題への方策		導入されたアプリ等の活用により課題や資料の作成などの省力化を図り、学力向上とともに働き方改革についても図っていく。								

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計																																																																																																																																			
事業名		1	中学校教育振興費						所属名	総務・学校教育課																																																																																																																																			
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		生徒・教職員					総合計画における位置づけ																																																																																																																																					
	意図 (対象をどうするか)		教育目標の達成に向け、毎日の教育活動や各教科・領域の年間指導計画に基づく学習活動を推進する。					④保育及び学校・家庭教育の充実																																																																																																																																					
	成果の視点 (どのような効果があるか)		学習指導の充実を図ることができる。 生徒の豊かな体験活動が図られる。 生徒が楽しく学べる学校となる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																																																																																																					
								②子育て環境の充実																																																																																																																																					
								根拠法令・要綱等																																																																																																																																					
前年度比較	令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	教育基本法 学校教育法 学習指導要領 南部町立小・中学校管理規則																																																																																																																																								
	15,086,581 円	14,849,488 円	△ 237,093 円	△ 1.6 %																																																																																																																																									
	令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減						令和6年度執行率	81.94 %																																																																																																																																		
	15,827 千円	18,122 千円	2,295 千円	14.5 %																																																																																																																																									
【事業内容】 ○ 教育活動を充実させるため外部講師を招聘する。 ○ 指導に必要な教材を定期的に把握し、計画的な購入を行う。 ○ 授業に必要な教材、教材づくりのための物品購入を行う。 ○ 体育祭、文化祭、入学式、卒業式等の行事に係る物品の購入を行う。 ○ 生徒理解につながる情報収集と分析のための学力調査、知能検査を行う。 ○ いじめ・不登校の未然防止・早期発見による望ましい人間関係づくりに生かすため、ハイパーQUを実施する。 ○ 校外学習や対外試合等、授業や行事で生徒を輸送するためのバスの手配を行う。 ○ 効果的な教授活動を行うための教材備品の購入を行う。 ○ 生徒用、職員用図書の購入を行う。 ○ 教育活動を実施するための必要な経費を負担、補助する。 【決算の状況】 (計画) (実績) ①成果実績または活動実績 詳細は次ページに掲載 ②成果または活動の問題点 家庭学習・自主学習などの主体的な取組という面で課題が残っている。 ■学校評価 法勝寺中 南部中 <tr><td colspan="11"> (歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科目名称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>14-2-5-1</td><td>理科教育設備整備費補助金</td><td>100,000</td><td>146,000</td><td>7 報償費</td><td>264,240</td><td>1,446,499</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>8 旅費</td><td>22,680</td><td>140,660</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10 需用費</td><td>2,258,825</td><td>2,136,389</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11 役務費</td><td>194,384</td><td>200,833</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>12 委託料</td><td>933,856</td><td>979,393</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13 使用料及び賃借料</td><td>4,694,240</td><td>4,451,395</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>15 原材料費</td><td>97,444</td><td>159,322</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>17 備品購入費</td><td>5,043,621</td><td>3,258,207</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>1,577,291</td><td>2,076,790</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>14,986,581</td><td>14,703,488</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>15,086,581</td><td>14,849,488</td><td>計</td><td>15,086,581</td><td>14,849,488</td></tr></table> 今後に向けて <table><tr><td>①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td>生徒の主体的対話的で深い学びの実現に向け、教職員の資質向上を図るとともに個々の生徒の特性等を踏まえた支援や配慮を進めるための教材教具の整備を進めていく。</td></tr><tr><td colspan="2">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成できた点をさらに伸ばす方策</td><td>生徒の心身の発達や段階、特性を十分に考慮した教材教具の選定・整備を行うことができた。研修や使用実績をもとに、教材教具のより効果的な活用を図っていく。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>生徒の主体的な学びへとつながる多様な学びの体験を、様々な機会を設定し充足させていく。また、そうした教育活動を充実させるために必要な経費を確保する。</td></tr></table></td></tr>											(歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科目名称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>14-2-5-1</td><td>理科教育設備整備費補助金</td><td>100,000</td><td>146,000</td><td>7 報償費</td><td>264,240</td><td>1,446,499</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>8 旅費</td><td>22,680</td><td>140,660</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10 需用費</td><td>2,258,825</td><td>2,136,389</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11 役務費</td><td>194,384</td><td>200,833</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>12 委託料</td><td>933,856</td><td>979,393</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13 使用料及び賃借料</td><td>4,694,240</td><td>4,451,395</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>15 原材料費</td><td>97,444</td><td>159,322</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>17 備品購入費</td><td>5,043,621</td><td>3,258,207</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>1,577,291</td><td>2,076,790</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>14,986,581</td><td>14,703,488</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>15,086,581</td><td>14,849,488</td><td>計</td><td>15,086,581</td><td>14,849,488</td></tr></table> 今後に向けて <table><tr><td>①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td>生徒の主体的対話的で深い学びの実現に向け、教職員の資質向上を図るとともに個々の生徒の特性等を踏まえた支援や配慮を進めるための教材教具の整備を進めていく。</td></tr><tr><td colspan="2">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成できた点をさらに伸ばす方策</td><td>生徒の心身の発達や段階、特性を十分に考慮した教材教具の選定・整備を行うことができた。研修や使用実績をもとに、教材教具のより効果的な活用を図っていく。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>生徒の主体的な学びへとつながる多様な学びの体験を、様々な機会を設定し充足させていく。また、そうした教育活動を充実させるために必要な経費を確保する。</td></tr></table>											款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	14-2-5-1	理科教育設備整備費補助金	100,000	146,000	7 報償費	264,240	1,446,499					8 旅費	22,680	140,660					10 需用費	2,258,825	2,136,389					11 役務費	194,384	200,833					12 委託料	933,856	979,393					13 使用料及び賃借料	4,694,240	4,451,395					15 原材料費	97,444	159,322					17 備品購入費	5,043,621	3,258,207					18 負担金補助及び交付金	1,577,291	2,076,790																														一般財源	14,986,581	14,703,488					計	15,086,581	14,849,488	計	15,086,581	14,849,488	①今後の事業全体の方向性とその内容	生徒の主体的対話的で深い学びの実現に向け、教職員の資質向上を図るとともに個々の生徒の特性等を踏まえた支援や配慮を進めるための教材教具の整備を進めていく。	②次年度へ向けた次への行動・具体策		達成できた点をさらに伸ばす方策	生徒の心身の発達や段階、特性を十分に考慮した教材教具の選定・整備を行うことができた。研修や使用実績をもとに、教材教具のより効果的な活用を図っていく。	解決すべき課題への方策	生徒の主体的な学びへとつながる多様な学びの体験を、様々な機会を設定し充足させていく。また、そうした教育活動を充実させるために必要な経費を確保する。
(歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科目名称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>14-2-5-1</td><td>理科教育設備整備費補助金</td><td>100,000</td><td>146,000</td><td>7 報償費</td><td>264,240</td><td>1,446,499</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>8 旅費</td><td>22,680</td><td>140,660</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10 需用費</td><td>2,258,825</td><td>2,136,389</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11 役務費</td><td>194,384</td><td>200,833</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>12 委託料</td><td>933,856</td><td>979,393</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>13 使用料及び賃借料</td><td>4,694,240</td><td>4,451,395</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>15 原材料費</td><td>97,444</td><td>159,322</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>17 備品購入費</td><td>5,043,621</td><td>3,258,207</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>18 負担金補助及び交付金</td><td>1,577,291</td><td>2,076,790</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>14,986,581</td><td>14,703,488</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>15,086,581</td><td>14,849,488</td><td>計</td><td>15,086,581</td><td>14,849,488</td></tr></table> 今後に向けて <table><tr><td>①今後の事業全体の方向性とその内容</td><td>生徒の主体的対話的で深い学びの実現に向け、教職員の資質向上を図るとともに個々の生徒の特性等を踏まえた支援や配慮を進めるための教材教具の整備を進めていく。</td></tr><tr><td colspan="2">②次年度へ向けた次への行動・具体策</td></tr><tr><td>達成できた点をさらに伸ばす方策</td><td>生徒の心身の発達や段階、特性を十分に考慮した教材教具の選定・整備を行うことができた。研修や使用実績をもとに、教材教具のより効果的な活用を図っていく。</td></tr><tr><td>解決すべき課題への方策</td><td>生徒の主体的な学びへとつながる多様な学びの体験を、様々な機会を設定し充足させていく。また、そうした教育活動を充実させるために必要な経費を確保する。</td></tr></table>											款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	14-2-5-1	理科教育設備整備費補助金	100,000	146,000	7 報償費	264,240	1,446,499					8 旅費	22,680	140,660					10 需用費	2,258,825	2,136,389					11 役務費	194,384	200,833					12 委託料	933,856	979,393					13 使用料及び賃借料	4,694,240	4,451,395					15 原材料費	97,444	159,322					17 備品購入費	5,043,621	3,258,207					18 負担金補助及び交付金	1,577,291	2,076,790																														一般財源	14,986,581	14,703,488					計	15,086,581	14,849,488	計	15,086,581	14,849,488	①今後の事業全体の方向性とその内容	生徒の主体的対話的で深い学びの実現に向け、教職員の資質向上を図るとともに個々の生徒の特性等を踏まえた支援や配慮を進めるための教材教具の整備を進めていく。	②次年度へ向けた次への行動・具体策		達成できた点をさらに伸ばす方策	生徒の心身の発達や段階、特性を十分に考慮した教材教具の選定・整備を行うことができた。研修や使用実績をもとに、教材教具のより効果的な活用を図っていく。	解決すべき課題への方策	生徒の主体的な学びへとつながる多様な学びの体験を、様々な機会を設定し充足させていく。また、そうした教育活動を充実させるために必要な経費を確保する。											
款-項-目-節	科目名称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																																																																																																							
14-2-5-1	理科教育設備整備費補助金	100,000	146,000	7 報償費	264,240	1,446,499																																																																																																																																							
				8 旅費	22,680	140,660																																																																																																																																							
				10 需用費	2,258,825	2,136,389																																																																																																																																							
				11 役務費	194,384	200,833																																																																																																																																							
				12 委託料	933,856	979,393																																																																																																																																							
				13 使用料及び賃借料	4,694,240	4,451,395																																																																																																																																							
				15 原材料費	97,444	159,322																																																																																																																																							
				17 備品購入費	5,043,621	3,258,207																																																																																																																																							
				18 負担金補助及び交付金	1,577,291	2,076,790																																																																																																																																							
	一般財源	14,986,581	14,703,488																																																																																																																																										
	計	15,086,581	14,849,488	計	15,086,581	14,849,488																																																																																																																																							
①今後の事業全体の方向性とその内容	生徒の主体的対話的で深い学びの実現に向け、教職員の資質向上を図るとともに個々の生徒の特性等を踏まえた支援や配慮を進めるための教材教具の整備を進めていく。																																																																																																																																												
②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																																																																																													
達成できた点をさらに伸ばす方策	生徒の心身の発達や段階、特性を十分に考慮した教材教具の選定・整備を行うことができた。研修や使用実績をもとに、教材教具のより効果的な活用を図っていく。																																																																																																																																												
解決すべき課題への方策	生徒の主体的な学びへとつながる多様な学びの体験を、様々な機会を設定し充足させていく。また、そうした教育活動を充実させるために必要な経費を確保する。																																																																																																																																												

事業名	1	中学校教育振興費	所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】（計画）（実績）①成果実績または活動実績				
南部中学校・法勝寺中学校				単位:円
細節	予算額	決算額	内 容	
報償費	1,446,499	1,446,499	卒業式イベント出演料及お土産代1,143,514円 卒業記念品93名171,985円 校内研究会謝金66,000円 ブラッシング指導謝金10,000円 性教育講演会謝金50,000円 人権教育講演謝金5,000円	
普通旅費	140,660	140,660	卒業式イベント交通費118,780円 校内研究会講師旅費21,880円	
消耗品費	1,931,000	1,930,701	教育事務用1,010,746円 教科用919,955円	
食糧費	3,888	3,888	卒業式イベント弁当3,888円	
備品修繕費	220,000	201,800	楽器179,300円 デジタイマ7,100円 ホワイトボード15,400円	
通信運搬費	242,000	166,100	楽器運搬166,100円	
手数料	21,000	6,253	金融機関手数料6,253円	
その他の保険料	31,000	28,480	2年職場体験保険料79名4日分28,480円	
その他の委託料	1,184,000	979,393	知能検査1年89名×490円＝43,610円(クリエート上野) ハイパーQU2回507名×480円＝243,360円 標準学力調査2回1925名×327円×10%＝692,423円(東京書籍)	
借上料	6,850,953	4,349,750	貸切バス借上(校外学習438,900円 部活動3,910,850円)	
使用料	218,000	101,645	しあわせプール使用料261名×310円＝80,910円 文化祭用舞台資材使用料20,735円	
原材料費	200,000	159,322	教科用(美術、家庭、技術、理科)159,322円	
備品購入費	3,315,000	3,258,207	(南中)デジタイマチャレンジ23,320円 オープンレンジ20,900円 デジタイマ91,520円 マグネットシート方眼黒板18,700円 ホットプレート13,149円 生徒用図書672,429円 フィルムコート装備8,250円 職員図書17,259円 (法中)クラリネット541,200円 デジタルタイマ46,640円 冷蔵庫184,800円 ガラスジュワー瓶49,500円 顕微鏡293,700円 得点版40,150円 ワイヤレスマイク43,000円 生徒用図書1,150,027円 フィルムコート装備14,073円 職員図書29,590円	
その他負担金	1,358,000	1,159,390	西伯郡学校保健会負担金265名×15円＝3,975円 英語弁論参加1名3,000円 部活登録料・参加料助成364,667円 部活動応援金309,923円 修学旅行引率経費5名×14,441円＝72,205円 修学旅行引率経費7名×13,910円＝97,370円 修学旅行キャンセル保障保険料105名×1,320円＝138,600円 ヘルメット購入助成87名×1,950円＝169,650円	
その他の補助金	960,000	917,400	制服購入助成91名×10,000円 1名×7,400円	
計	18,122,000	14,849,488		
・ 生徒用図書購入				
	南中	法中		
購入冊数	406 冊	651 冊		
購入金額	672,429 円	1,150,027 円		
図書蔵書率	106 %	104.2 %		
○ 制服をブレザー等に変更したことによる効果				
・ 学生服と違い、独自のブレザーになったことで愛校心を感じる姿が見られる				
・ 女子生徒のズボン着用者が見られる				
・ ブレザーに合わせてポロシャツも導入したが、天気や体調に合わせて調節する姿がみられる				
※R5年度との比較 大幅な増減				
○ 報償費 卒業式イベントゲストを招いたことによる増				
○ 旅費 卒業式イベントゲストを招いたことによる増				
○ 原材料費 コロナ5類移行により調理実習を実施したことによる増				
○ 備品購入費 購入品目、数、金額による減				
■ハイパーQU				
不登校やいじめ防止、対人関係能力の育成に向けたより良い学校生活と友だちづくりのためのアンケート				
■標準学力調査				
学力の状況を診断し、指導改善にいかす調査				

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計																																																							
事業名		2	地域とともに歩む学校づくり推進事業(中学校)						所属名	総務・学校教育課																																																							
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		生徒・教職員					総合計画における位置づけ																																																									
	意図 (対象をどうするか)		地域学校協働活動推進員の配置等により、地域ぐるみで子どもを育む仕組みを整えることでめざす子ども像に近づける。					④保育及び学校・家庭教育の充実																																																									
	成果の視点 (どのような効果があるか)		中学校区ごとのめざす子ども像の実現に向け、地域と学校が協働した教育活動の推進や支援を展開することにより、地域とともに歩む学校づくりが進んでいる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ																																																									
								②子育て環境の充実																																																									
								根拠法令・要綱等																																																									
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	教育基本法 学校教育法 学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領 南部町学校運営協議会設置要綱																																																											
		446,376 円	380,926 円	△ 65,450 円	△ 14.7 %																																																												
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減			令和6年度執行率	84.28 %																																																								
		558 千円	452 千円	△ 106 千円	△ 19.0 %																																																												
【事業内容】 ○ 地域学校協働活動推進員を配置するとともに、協働活動を円滑に実施するための環境を整える。 ○ 基本的生活習慣の確立および学力の底上げを図る。 (学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金の活用 補助率 国1/3・県1/3・町1/3) 【決算の状況】 (計画) (実績) ①成果実績または活動実績 詳細は次ページに掲載 ②成果または活動の問題点 これまでのまち未来科をはじめとした取組を、10年後も継続可能なものへと見直し、改編を行っていく。 ■中学校区CSランドデザイン 法勝寺中学校区 南部中学校区																																																																	
(歳入内訳 単位:円) <table><tr><td>款-項-目-節</td><td>科 目 名 称</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td><td>節</td><td>前年度決算額</td><td>本年度決算額</td></tr><tr><td>15-2-6-1</td><td>学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金</td><td>263,000</td><td>243,000</td><td>7 報償費</td><td>307,125</td><td>351,530</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10 需用費</td><td>120,449</td><td>15,284</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>11 役務費</td><td>18,802</td><td>14,112</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>一般財源</td><td>183,376</td><td>137,926</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>446,376</td><td>380,926</td><td>計</td><td>446,376</td><td>380,926</td></tr></table>										款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	15-2-6-1	学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金	263,000	243,000	7 報償費	307,125	351,530					10 需用費	120,449	15,284					11 役務費	18,802	14,112																一般財源	183,376	137,926					計	446,376	380,926	計	446,376	380,926
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額																																																											
15-2-6-1	学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金	263,000	243,000	7 報償費	307,125	351,530																																																											
				10 需用費	120,449	15,284																																																											
				11 役務費	18,802	14,112																																																											
	一般財源	183,376	137,926																																																														
	計	446,376	380,926	計	446,376	380,926																																																											
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		将来、豊かなふるさとづくりを担う子どもを育てるという視点での組織づくりと活動の充実を図る。																																																														
	②次年度へ向けた次への行動・具体策																																																																
	達成できた点をさらに伸ばす方策	より一層の校区CS、各校CS委員会協働体制の充実を図っていく。そのために、「顔の見えるCS活動」を念頭に置き、学校教職員・生徒との協働を展開していく。																																																															
	解決すべき課題への方策	将来に生きて働く課題探求技能を育成する学びの集大成としての「まち未来会議」の取組の再編をCSの協働のもとで図っていく。																																																															

事業名	2	地域とともに歩む学校づくり推進事業(中学校)	所属名	総務・学校教育課
【決算の状況】 (計画) (実績) ①成果実績または活動実績				
南部中学校・法勝寺中学校				
単位:円				
細 節	予算額	決算額	内 容	
報償費	386,000	351,530	地域学校協働活動推進員2名 184時間×1,120円＝206.080円 生徒活動支援 86時間×1,000円＝86,000円 学習講師謝金 9名×5,000円＝45,000円 地域の先輩に学ぶ(高校生) 5名×1,000円(図書カード)＝5,000円 まち未来会議講師 7名×1,350円＝9,450円	
消耗品費	35,000	10,487	除草剤4,980円 腕章2,005円 野菜苗1,192円 コピー用紙2,310円	
燃料費	9,000	4,797	混合油4,797円	
通信運搬費	13,000	6,062	郵券6,062円	
その他の保険料	9,000	8,050	ボランティア保険23名分×350円＝8,050円	
計	452,000	380,926		
○主な活動内容				
・中学校区CSランドデザインに基づき、コミュニティ・スクールの充実を図った。				
・学校に1名の地域学校協働活動推進員を配置し、学校支援活動の活性化と充実が図られた。生徒と地域との交流活動や貢献活動を行う際の調整を行い、活動を通して地域への愛着や貢献しようとする生徒を育てることにつなげた。職業講話「先輩に学ぶ」の講師探しや日程の調整を行った。				
・まち未来科等の学習に講師を招いた。				
・部活動支援を行った。				
(法中)				
CHA ³ プログラム支援、あいさつ運動、学校行事支援活動、学習指導支援、部活動支援等				
(南中)				
まち未来会議、あいさつ運動、下校指導、ランド整備、ひまわりプロジェクト、先輩に学ぶ、郷土伝統芸能伝承学習、なんぶっ子塾等				
※R5年度との比較 大幅な増減				
○消耗品費 減				
・南中…活動(「学校へ来てごしない」企画等)の縮小、広報活動方法の見直しによる減				
・法中…活動(一式飾り、古典暗唱)の縮小、見直しによる減				

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計	
事業名		3	部活動指導支援事業						所属名	総務・学校教育課	
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		生徒及び教職員					総合計画における位置づけ			
	意図 (対象をどうするか)		部活動の質的向上や指導体制の充実、教職員の負担軽減を図るとともに、地域移行による更なる専門的な指導が受けられる体制を構築する。					④保育及び学校・家庭教育の充実			
	成果の視点 (どのような効果があるか)		子どもたちが部活動等を主体的に選択し、地域の中で専門的な指導を受けられる機会及び将来にわたりスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保するとともに、地域とつながることで教職員の負担を軽減させる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ			
								②子育て環境の充実			
								根拠法令・要綱等			
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	教育基本法、学校教育法、運動部活動外部指導者活用事業補助金交付要綱、部活動指導員配置規則、南部町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例					
		547,365 円	1,342,720 円	795,355 円	145.3 %						
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度	77.48 %				
		730 千円	1,733 千円	1,003 千円	137.4 %	執行率					
【事業内容】 南部町部活動の地域移行のあり方に関する提言を踏まえ、R8年度の部活動の地域移行にむけてクラブ指導員、クラブコーディネーターを配置するとともに、合同チームの練習場所である中学校まで生徒を輸送をする。 ○クラブ指導員の配置（運動部・文化部）・・・部活動指導員配置事業の活用(町1/3・県1/3・国1/3) ○部活動の合同チーム・合同練習にかかる公用車運行 ○クラブコーディネーターの配置・・・部活動地域移行推進事業の活用(町1/2・県1/2) ○教育振興助成事業に係る部活動指導員旅費 【決算の状況】 (計画) (実績) ①成果実績または活動実績 単位:円											
細節		予算額	決算額	内 容							
普通旅費		122,000	0	※支出に係る実績がなかったため							
その他の委託料		1,611,000	1,342,720	部活動合同練習にかかる公用車運行283,200円(個人契約) 実績 3人 236回 クラブコーディネーター業務委託1,006,720円(スポnetなんぶ)実績 832時間 サッカーゴール運搬52,800円(タナカ)							
計		1,733,000	1,342,720								
○クラブ指導員 13名配置(会計年度任用職員) バスケ女子、サッカー、バレーボール、陸上、ソフトテニス、科学、ソフトボール、野球、バスケ男子2、卓球、剣道、美術 ・コーディネーターの配置により、指導員確保、各部間の調整等がスムーズに行われ、子どもたちが望む部活動が専門的指導のもと実施できた。 ・クラブ指導員の活用により、専門的な指導が可能となった。 ・公用車運行により、合同チームによる練習の頻度が高くなり、部活動を充実させることができた。 ②成果または活動の問題点 地域移行が完了するまでは、部活動顧問が必要であり、慣れない部活動の顧問を担当することがある。 ※クラブコーディネーター業務を委託したことによる増 (歳入内訳 単位:円) (歳出内訳 単位:円)											
款-項-目-節		科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額		
15-2-6-1		地域運動部活動推進事業補助金		62,000	0	7 報償費		96,700	0		
15-2-6-1		部活動地域移行推進事業補助金		0	503,360	8 旅費		7,882	0		
20-5-5-1		合同部活動推進事業委託費		87,600	0	10 需用費		85,183	0		
						12 委託料		357,600	1,342,720		
		一般財源		397,765	839,360						
		計		547,365	1,342,720	計		547,365	1,342,720		
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		「南部町部活動の地域移行のあり方に関する提言」を踏まえ、部活動の地域移行を実現させていく。								
	②次年度へ向けた次への行動・具体策										
	達成できた点をさらに伸ばす方策		一層の指導の充実と教職員の負担軽減を図るため、各分野のクラブ指導員を確保し、持続可能な取り組みにしていこう。								
	解決すべき課題への方策		コーディネーターを配置し、地域、学校、行政が協働して「南部町部活動の地域移行のあり方に関する提言」を踏まえた地域移行をすすめるとともに、持続可能な体制を構築していこう。								

款	9	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費	会計名	一般会計
事業名		5	教育振興助成事業						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		生徒					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		各種大会に出場し、他校の生徒と競技や交流をする中で集団の一員としての責任感や自覚を深め健全な心身を育成する。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		望ましい人間関係が構築されることにより、意欲に満ちた活気のある生徒を育てる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
								南部町中学校部活動大会派遣費等補助金交付要綱		
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	98.67 %				
132,010 円		465,716 円	333,706 円	252.8 %						
令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減						
前年度比較		295 千円		472 千円			177 千円	60.0 %		

【事業内容】

中国地区以上の規模の大会又はコンクール等への出場に対し、生徒に係る交通費・宿泊費・参加経費を補助する。

【決算の状況】

(計画)交通費・宿泊費・参加経費 一式

(実績)

①成果実績または活動実績

各大会へ出場する際の交通費・宿泊費・大会参加費等を補助金として交付。

	所 属	期間・場所・交通費	宿泊費	大会参加費	計
1	南部・法勝寺中学校合同ソフトボール部	令和6年8月2日～8月3日 大東ふれあい運動場球技上(島根県) 生徒輸送費:164,120円	なし	@2,000円×11人 ＝22,000円	186,120円
2	南部中学校生徒(水泳・個人)	令和6年8月3日 鳥取県営東山水泳場(米子市) 生徒輸送費:592円	なし	@2,000円×1人 ＝2,000円	2,592円
3	法勝寺中学校生徒(バドミントン・個人)	令和6年8月4日～8月5日 大和興産安佐北区スポーツセンター(広島県) 生徒輸送費:20,542円	@10,900円×1人 ＝10,900円	@2,000円×1人 ＝2,000円	33,442円
4	南部中学校生徒(柔道・団体)	令和6年8月2日～8月3日 岡山武道館(岡山県) 生徒輸送費:10,672円	@10,000円×1人 ＝10,000円	@2,000円×1人 ＝2,000円	22,672円
5	法勝寺中学校ソフトテニス部	令和6年11月9日 みよし運動公園テニスコート(広島県) 生徒輸送費:34,090円(68,180円÷2)	なし	@4,000円×1団体 ÷2＝2,000円	36,090円
6	法勝寺中学校吹奏楽部	令和7年2月1日 とりぎん文化会館(鳥取市) 生徒・楽器輸送費:171,600円	なし	@10,000円×1団体 ＝10,000円 @400円×8人＝3,200円	184,800円

5は南部町中学校部活動大会派遣費等補助金交付要綱第2条第1項第2号の「その他大会」のため、補助率1/2。

※ 中国地区以上の規模の大会又はコンクール等へ出場した部活動数の増により、負担金補助及び交付金増。

②成果または活動の問題点

学校部活動の地域移行に伴い、多様な形態での参加が増加した。

(歳入内訳 単位:円)				(歳出内訳 単位:円)			
款-項-目-節	科 目 名 称	前年度決算額	本年度決算額	節	前年度決算額	本年度決算額	
20-5-5-1	部活動大会補助金受入金	49,360	23,540	18 負担金補助及び交付金	132,010	465,716	
	一般財源	82,650	442,176				
	計	132,010	465,716	計	132,010	465,716	

今後に向けて

①今後の事業全体の方向性とその内容

集団の一員としての責任感や自覚を深め、健全な心身の育成に寄与するとともに、多様な形態での大会参加に対応する。

②次年度へ向けた次への行動・具体策

達成できた点をさらに伸ばす方策

生徒が夢や目標をもって、部活動をはじめとする様々な活動に主体的に取り組めるように支援する。また、部活動以外の地域クラブ等での出場について整理し、支援を行う。

解決すべき課題への方策

学校部活動の地域移行に伴う変化に対応すべく補助対象や範囲を見直し、生徒の主体的な活動を引き続き支援する。

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食費	会計名	一般会計
事業名		1-1	給食センター管理費(会見)						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		会見給食センター					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		安定して給食を提供できるよう施設を維持管理する。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		給食センターの調理環境を整えることにより、おいしく、かつ安全な給食を提供する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	学校給食法 食育基本法 学校給食衛生管理基準 南部町立学校給食センター条例				
		32,996,347 円	37,422,386 円	4,426,039 円	13.4 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		33,711 千円	37,733 千円	4,022 千円	11.9 %					
		令和6年度執行率	99.18 %							
【事業内容】 ○ 業務委託(R4. 4月～3年間の契約) 委託の目的:給食を効率的かつ安全・安心・安定的に提供する。 委託先:株式会社メフォス(プロポーザル審査会にて選定) (H22年度から給食調理業務等を業者に委託し、H25年度、H28年度、H31年度、R4年度に再契約) 委託内容:調理業務、食材検収業務、施設・備品保守清掃管理業務、配送業務、洗浄業務 ○ 学校給食センター運営委員会の開催 運営委員10名(小中学校長2名、給食主任又は保健体育主事3名、小中学校PTA会長2名、学識経験者3名) 内容:R5年度実績報告、R6年度学校給食費一食単価等、R6年度事業計画 ○ 南部町立学校給食センター調理等業務委託事業公募型プロポーザル審査会の開催 プロポーザル審査委員9名(南部町副町長、南部町教育委員会教育長職務代行者、南部町校長会長、学校給食センター運営委員会委員1名、学識経験者2名、南部町立学校給食センター長、栄養教諭、学校栄養主任) ○ 施設、設備の修繕や点検、新規購入 ○ 食物アレルギー等対応 ○ 食中毒、ノロウイルス対策 ○ 食育の推進										
【決算の状況】 ①成果実績又は活動実績 詳細は次頁 ②成果または活動の問題点 施設設備の老朽化に伴い、計画外の突発的な修繕対応が発生した。										
(歳入内訳 単位:円)										
(歳出内訳 単位:円)										
款-項-目-節		科 目 名 称		前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額	
20-5-5-1		会見給食センター給食配送車両売却料		48,640	0	7 報償費		16,200	13,500	
21-1-6-1		給食センター管理事業債		2,200,000	3,400,000	10 需用費		3,867,724	6,361,214	
						11 役務費		579,494	361,924	
						12 委託料		26,740,709	29,332,000	
						13 使用料及び賃借料		10,220	0	
						17 備品購入費		1,782,000	1,353,748	
		一般財源		30,747,707	34,022,386					
		計		32,996,347	37,422,386	計		32,996,347	37,422,386	
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		平成7年に改築され、29年が経過。経年劣化により施設及び部品の修繕が必要だが、部品が廃番の場合もあり、買い替えが必要となるケースも増加している。今後の児童生徒数の推移をふまえ、計画的に整備していく。							
	②次年度へ向けた次への行動・具体策									
	達成できた点をさらに伸ばす方策		安心安全な給食が提供できるよう、施設及び備品の修繕や新規購入を計画的に実施する。							
	解決すべき課題への方策		給食センターの施設設備を計画的に整備するとともに、年々増加する突発的な修繕等に対応するための予算確保が必要。							

事業名	1-1	給食センター管理費(会見)		所属名	総務・学校教育課
(計画) (実績)				単位:円	
細節	予算額	決算額	内容		
報償費	41,000	13,500	学校給食センター運営委員2,700円×2人(令和6年5月8日開催) プロポーザル審査委員2,700円×3人(令和6年11月19日開催)		
消耗品費	461,000	458,094	食器類350,570円、他(調理器具、書籍、等)107,524円		
印刷製本費	79,000	78,177	窓口用共通納付書等(全4種)78,177円		
施設修繕料	5,070,073	5,070,073	軒天井改修工事3,795,000円(◆)、水道子メーター取替工事183,040円、給湯器取替工事325,000円、フ라이어設置床修繕及びフ라이어移設工事175,420円、他591,613円		
備品修繕料	758,000	754,870	フードスライサー部品交換225,610円、移動作業台キャスター交換49,500円、プレハブ冷蔵庫修繕工事163,680円、他316,080円		
通信運搬費	186,000	159,769	電話料金58,239円、学校給食費賦課及び精算通知101,530円		
手数料	335,000	171,050	腸内細菌・ノロウイルス検査(福山臨床、毎月9人×2回)78,650円、地下タンク等漏洩点検(ダイカ)59,400円、ファン点検(TBM)33,000円 ※ノロウイルス検査の実施回数が想定よりも少なかった。		
火災保険料	32,000	31,105	建物災害共済継続委託分担金(鳥取県町村会)31,105円		
保守点検委託料	240,000	226,000	電気設備保守点検(前田電気)160,000円、消防設備保守点検(上田商事)66,000円		
その他の委託料	29,106,000	29,106,000	メフォス委託料 月額2,425,500円×12月 給食センター稼働日数239日(内、給食実施日数199日)		
備品購入費	1,424,000	1,353,748	プレハブ冷蔵庫内ラック347,800円、皿用かご、トレイ用かご500,000円、天ぷら入れ(食缶)128,700円、ハンドル付き移動台94,700円、ホテルパン・鉄板40,600円、他(厨房備品類)241,948円		
合計	37,732,073	37,422,386			
◆ 給食センター管理事業債は施設修繕料(軒天井改修工事)に充当					
※ 軒天井改修工事により施設修繕料増。					
※ 令和6年度学校給食費に関する通知の送付回数減(年2回→年1回(年1回は学校を通じて配布))により役務費減。					
※ 土地賃貸借契約終了により使用料及び賃借料皆減。					

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食費	会計名	一般会計					
事業名		1-3	給食センター管理費(西伯)						所属名	総務・学校教育課					
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		西伯給食センター					総合計画における位置づけ							
	意図 (対象をどうするか)		安定して給食を提供できるよう施設を維持管理する。					④保育及び学校・家庭教育の充実							
	成果の視点 (どのような効果があるか)		給食センターの調理環境を整えることにより、おいしく、かつ安全な給食を提供する。					「五つの挑戦」から見た位置づけ							
								②子育て環境の充実							
								根拠法令・要綱等							
								学校給食法 食育基本法 学校給食衛生管理基準 南部町立学校給食センター条例							
令和5年度決算額		令和6年度決算額	差引	増減	令和6年度 執行率	98.60	%								
40,679,811 円		39,833,728 円	△ 846,083 円	△ 2.1 %											
令和5年度予算額		令和6年度予算額	差引	増減											
41,810 千円		40,398 千円	△ 1,412 千円	△ 3.4 %											
【事業内容】 ○ 業務委託(R4. 4月～3年間の契約) 委託の目的:給食を効率的かつ安全・安心・安定的に提供する。 委託先:株式会社メフォス(プロポーザル審査会にて選定) (H22年度から給食調理業務等を業者に委託し、H25年度、H28年度、H31年度、R4年度に再契約) 委託内容:調理業務、食材検収業務、施設・備品保守清掃管理業務、配送業務、洗浄業務 ○ 学校給食センター運営委員会の開催 運営委員10名(小中学校長2名、給食主任又は保健体育主事3名、小中学校PTA会長2名、学識経験者3名) 内容:R5年度実績報告、R6年度学校給食費一食単価等、R6年度事業計画 ○ 南部町立学校給食センター調理等業務委託事業公募型プロポーザル審査会の開催 プロポーザル審査委員9名(南部町副町長、南部町教育委員会教育長職務代行者、南部町校長会長、学校給食センター運営委員会委員1名、学識経験者2名、南部町立学校給食センター長、栄養教諭、学校栄養主任) ○ 施設、設備の修繕や点検、新規購入 ○ 食物アレルギー等対応 ○ 食中毒、ノロウイルス対策 ○ 食育の推進															
【決算の状況】 ①成果実績又は活動実績 詳細は次頁 ②成果または活動の問題点 施設設備の老朽化に伴い、計画外の突発的な修繕対応が発生した。															
(歳入内訳 単位:円)											(歳出内訳 単位:円)				
款-項-目-節		科目名称			前年度決算額	本年度決算額	節		前年度決算額	本年度決算額					
21-1-6-1		給食センター管理事業債			1,900,000	2,700,000	10 需用費		3,306,450	1,644,197					
							11 役務費		238,202	295,391					
							12 委託料		33,981,569	34,722,000					
							17 備品購入費		3,153,590	3,172,140					
		一般財源			38,779,811	37,133,728									
		計			40,679,811	39,833,728	計		40,679,811	39,833,728					
今後に向けて	①今後の事業全体の方向性とその内容		平成19年に改築され、17年が経過。経年劣化により施設及び部品の修繕が必要だが、部品が廃番の場合もあり、買い替えが必要となるケースも増加している。今後の児童生徒数の推移をふまえ、計画的に整備していく。												
	②次年度へ向けた次への行動・具体策														
	達成できた点をさらに伸ばす方策		安心安全な給食が提供できるよう、施設及び備品の修繕や新規購入を計画的に実施する。												
	解決すべき課題への方策		給食センターの施設設備を計画的に整備するとともに、年々増加する突発的な修繕等に対応するための予算確保が必要。												

事業名	1-3	給食センター管理費(西伯)	所属名	総務・学校教育課
-----	-----	---------------	-----	----------

		(計画)	(実績)	単位:円
細節	予算額	決算額	内容	
消耗品費	368,000	365,051	食器類334,950円、他(調理器具、等)30,101円	
施設修繕料	509,000	439,736	キュービクル保守工事165,000円、殺菌灯交換43,494円、下処理室・洗浄室混合水栓取替等83,556円、給食センター前道路舗装修繕工事97,900円、他49,786円	
備品修繕料	995,000	839,410	ガス式回転釜修繕560,340円、洗浄機循環ポンプ及びオーバーフローパイプ修繕118,800円、パススルー冷蔵庫修繕73,260円、他87,010円	
通信運搬費	36,000	32,844	電話料金32,844円	
手数料	445,000	215,050	腸内細菌・ノロウイルス検査(福山臨床、毎月4人×2回)50,050円、エアコンフロン漏洩点検(TBM)77,000円、ファン点検(TBM)88,000円 ※ノロウイルス検査の実施回数が想定よりも少なかった(実施回数0)。※蜂等の害虫が発生せず、駆除業務を実施しなかった。	
火災保険料	48,000	47,497	建物災害共済継続委託分担金(鳥取県町村会)47,497円	
保守点検委託料	260,000	243,600	電気設備保守点検(前田電気)160,000円、消防設備保守点検(上田商事)83,600円	
その他の委託料	34,479,000	34,478,400	メフォス委託料 月額2,873,200円×12月 給食センター稼働日数244日(内、給食実施日数200日)	
備品購入費	3,257,927	3,172,140	スチームコンベクションオーブン1台3,080,000円、フードスライサー替刃(全3種)61,820円、他30,320円	
合計	40,397,927	39,833,728		

※ 大規模な施設修繕工事を実施しなかったため施設修繕料減。

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食費	会計名	一般会計
事業名		1-2	賄材料購入費(会見)						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童生徒、教職員、給食センター職員					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		栄養の補給を行い、児童生徒等の健康に寄与する。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		安全・安心かつ栄養バランスのとれた給食を提供し児童生徒の健康な身体づくりをめざすとともに、県内産・町内産食材を多く取り入れながら食育の教材として活用し、地元に着愛をもつ児童生徒の育成につなげる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	学校給食法 食育基本法 学校給食衛生管理基準 南部町立学校給食センター条例 南部町学校給食費徴収条例				
		19,588,802 円	20,958,837 円	1,370,035 円	7.0 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減	令和6年度	98.26 %			
		20,498 千円	21,330 千円	832 千円	4.1 %	執行率				
【事業内容】 ○ 給食用食材を購入する。 ○ 保護者の経済的な負担の軽減を目的として、学校給食費の一部又は全額を補助する。										
【決算の状況】 (計画) ○ 給食実施人数(R6.5.1時点)										
		児童生徒数	教職員数							
小学校		172人	36人							
中学校		104人	23人							
給食センター		-	11人							
○ 賄材料費内訳										
小学校(教職員・給食センター職員・保存食・試食を含む)					13,010,000 円					
中学校(教職員・保存食・試食を含む)					8,320,000 円					
合 計					21,330,000 円					
(実績)										
①成果実績または活動実績										
○ 給食実施回数(各校児童生徒の平均食数)										
・ 会小189回 ・ 二小184回 ・ 南中177回										
○ 米を中心とする各種食材が高騰し、当初単価では給食の質を保つことができないため、11月以降、一食あたりの給食費を改定した。										
令和6年4月～令和6年10月 1食あたり小学校(313円)、中学校(370円)の食材の購入 										

事業名	1-2	賄材料購入費(会見)	所属名	総務・学校教育課								
○ 学校給食費保護者負担軽減額 4,815,120円 (内、3番目以降全額町補助の人数・金額:15人(小学生:14人、中学生:1人)・728,564円) ○ 徴収実績 現年分(南部中学校区) <table><tr><td>調定額</td><td>16,143,717円</td></tr><tr><td>収入済額</td><td>16,143,717円</td></tr><tr><td>徴収率</td><td>100%</td></tr><tr><td>収入未済額</td><td>0円</td></tr></table> ○ 県産品使用率(全体)は、72%であった。(令和5年度:80%) 使用率減少の主な要因は、収穫量・漁獲量・生産者の減少や価格の高騰等。 ○ 給食用食材納入業者18者中、町内事業者は10者。 主な品目は、精白米、野菜、果実(柿、梨、等)、味噌、猪肉、豆腐、おかから、いちじくジャム ○ 町内産食材を活用し、特色ある給食を提供。又、地元生産者との交流を行った。 ②成果または活動の問題点 町内の生産者が高齢化等により減少し、町内産食材の納入量が減少したことにより、市場からの買入が増加し 食材費が高騰。又、米価の高止まりが一食単価上昇に多大な影響を与えている。					調定額	16,143,717円	収入済額	16,143,717円	徴収率	100%	収入未済額	0円
調定額	16,143,717円											
収入済額	16,143,717円											
徴収率	100%											
収入未済額	0円											

款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	学校給食費	会計名	一般会計
事業名		1-4	賄材料購入費(西伯)						所属名	総務・学校教育課
事業の目的	対象 (誰、何に対してか)		児童生徒、教職員、給食センター職員					総合計画における位置づけ		
	意図 (対象をどうするか)		栄養の補給を行い、児童生徒等の健康に寄与する。					④保育及び学校・家庭教育の充実		
	成果の視点 (どのような効果があるか)		安全・安心かつ栄養バランスのとれた給食を提供し児童生徒の健康な身体づくりをめざすとともに、県内産・町内産食材を多く取り入れながら食育の教材として活用し、地元に着愛をもつ児童生徒の育成につなげる。					「五つの挑戦」から見た位置づけ		
								②子育て環境の充実		
								根拠法令・要綱等		
前年度比較		令和5年度決算額	令和6年度決算額	差引	増減	学校給食法 食育基本法 学校給食衛生管理基準 南部町立学校給食センター条例 南部町学校給食費徴収条例				
		31,692,658 円	33,852,678 円	2,160,020 円	6.8 %					
		令和5年度予算額	令和6年度予算額	差引	増減					
		32,746 千円	35,265 千円	2,519 千円	7.7 %					
		令和6年度執行率	96.00 %							
【事業内容】 ○ 給食用食材を購入する。 ○ 保護者の経済的な負担の軽減を目的として、学校給食費の一部又は全額を補助する。										
【決算の状況】 (計画) ○給食実施人数(R6.5.1時点)										
		児童生徒数	教職員数							
小学校		308人	36人							
中学校		172人	30人							
給食センター		-	11人							
○賄材料費内訳										
小学校(教職員・給食センター職員・保存食・試食を含む)					21,844,000 円					
中学校(教職員・保存食・試食を含む)					13,421,000 円					
合 計					35,265,000 円					
(実績)										
①成果実績または活動実績										
○ 給食実施回数(各校児童生徒の平均食数)										
・ 西伯小186回 ・ 法中173回										
○ 米を中心とする各種食材が高騰し、当初単価では給食の質を保つことができないため、11月以降、一食あたりの給食費を改定した。										
令和6年4月～令和6年10月 1食あたり小学校(313円)、中学校(370円)の食材の購入 										

事業名	1-4	賄材料購入費(西伯)	所属名	総務・学校教育課								
○ 学校給食費保護者負担軽減額 8,484,712円 (内、3番目以降全額町補助の人数・金額:28人(小学生:27人、中学生:1人)・1,379,631円) ○ 徴収実績 現年分(法勝寺中学校区) <table><tr><td>調定額</td><td>25,463,136円</td></tr><tr><td>収入済額</td><td>25,367,966円</td></tr><tr><td>徴収率</td><td>99.63%</td></tr><tr><td>収入未済額</td><td>95,170円</td></tr></table> ○ 県産品使用率(全体)は、70%であった。(令和5年度:78%) 使用率減少の主な要因は、収穫量・漁獲量・生産者の減少や価格の高騰等。 ○ 給食用食材納入業者18者中、町内事業者は10者。 主な品目は、精白米、野菜、果実(柿、梨、等)、味噌、猪肉、豆腐、おかから、いちじくジャム ○ 町内産食材を活用し、特色ある給食を提供。又、地元生産者との交流を行った。 ②成果または活動の問題点 町内の生産者が高齢化等により減少し、町内産食材の納入量が減少したことにより、市場からの買入が増加し 食材費が高騰。又、米価の高止まりが一食単価上昇に多大な影響を与えている。					調定額	25,463,136円	収入済額	25,367,966円	徴収率	99.63%	収入未済額	95,170円
調定額	25,463,136円											
収入済額	25,367,966円											
徴収率	99.63%											
収入未済額	95,170円											